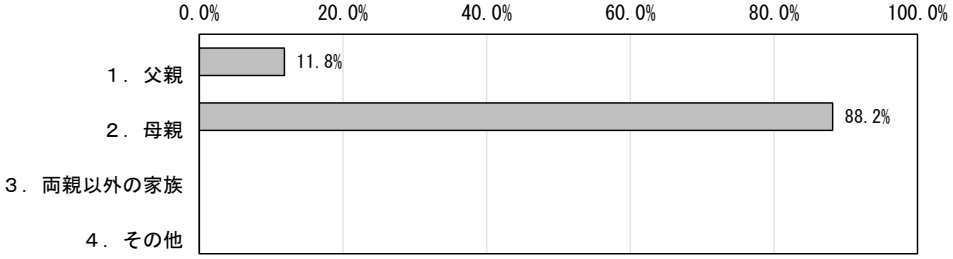
２　児童の保護者向けアンケート

保護者の方について（問１～問２）

問１　お答えいただくのは、どなたですか。（１つに○）

１．父親　　２．母親　　３．両親以外の家族　　４．その他

・アンケートの回答者は、母親が約88%、父親が約12%となっています。

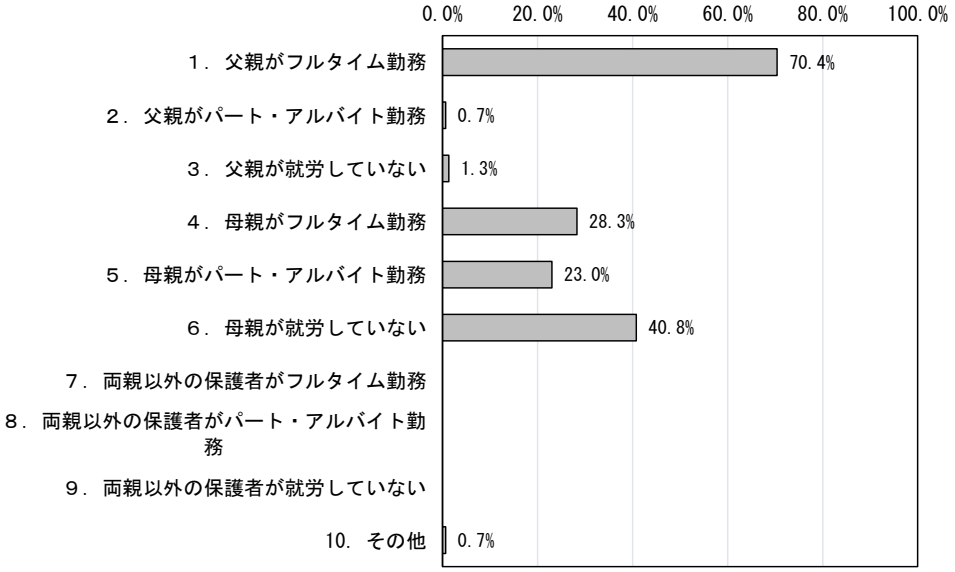


		回答者数	1．父親	2．母親	3．両親以外の家族	4．その他
児童	人数	152	18	134	0	0
	構成比（%）	100.0	11.8	88.2	0.0	0.0

問２　お答えいただく方の就労状況をお聞きします。（あてはまるものすべてに○）

１．父親がフルタイム勤務　　２．父親がパート・アルバイト勤務
３．父親が就労していない　　４．母親がフルタイム勤務
５．母親がパート・アルバイト勤務　　６．母親が就労していない
７．両親以外の保護者がフルタイム勤務
８．両親以外の保護者がパート・アルバイト勤務
９．両親以外の保護者が就労していない
10．その他

・保護者の方の就労状況は、「父親がフルタイム勤務」が約70%、「母親がフルタイム勤務」が約28%と「母親がパート・アルバイト勤務」23%を合わせて約51%、「母親が就労していない」が約41%となっています。

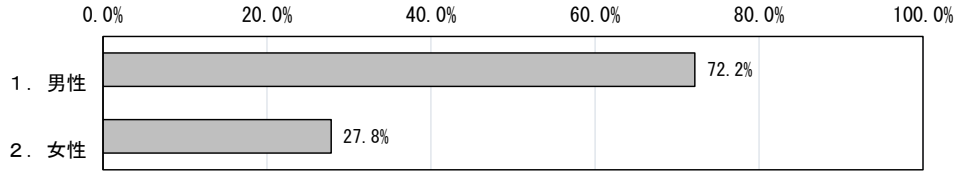


		回答者数	1. 父親がフルタイム勤務	2. 父親がパート・アルバイト勤務	3. 父親が就労していない	4. 母親がフルタイム勤務	5. 母親がパート・アルバイト勤務	6. 母親が就労していない	7. 両親以外の保護者がフルタイム勤務	8. 両親以外の保護者がパート・アルバイト勤務	9. 両親以外の保護者が就労していない	10. その他
児童	人数	152	107	1	2	43	35	**62**	0	0	0	1
	構成比（%）	100.0	70.4	0.7	1.3	28.3	23.0	**40.8**	0.0	0.0	0.0	0.7

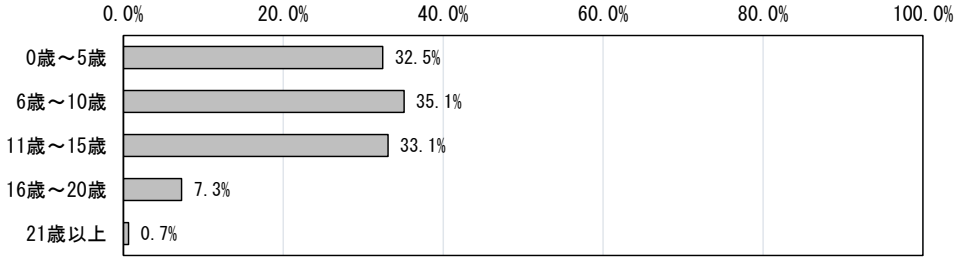
お子さんのことについて（問３～問８）

問３　発達に関する不安をお持ちのお子さん、障害のあるお子さんの性別と令和元年９月１日現在の年齢をお答えください。

・お子さんの性別は、「男性」が約72%、「女性」が約28%となっています。
・年齢は、「6歳～10歳」が、約35%と最も多くなっています。



		回答者数	1．男性	2．女性
児童	人数	151	109	**42**
	構成比（%）	100.0	72.2	**27.8**



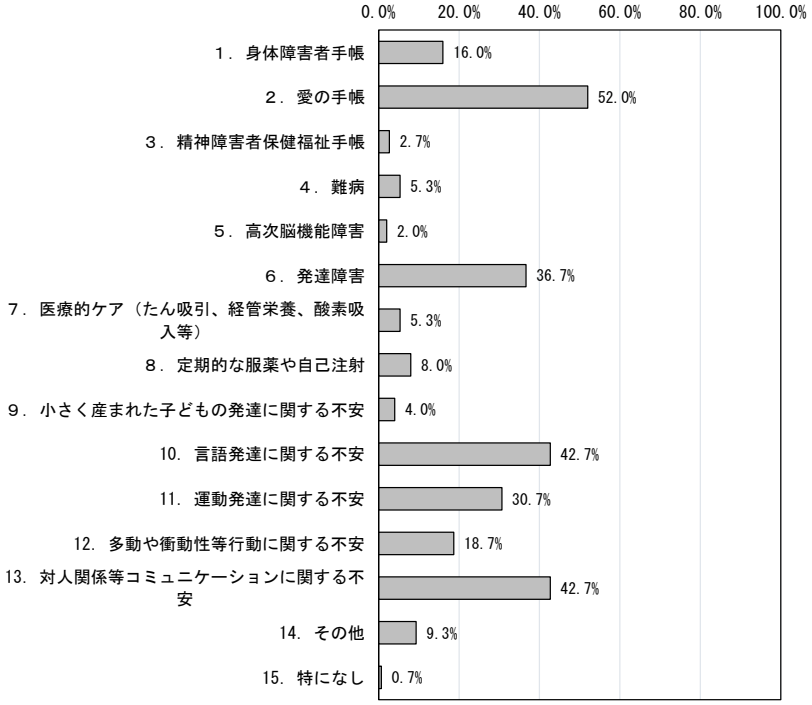
		回答者数	1．0歳～5歳	2．6歳～10歳	3．11歳～15歳	4．16歳～20歳	5．21歳以上
児童	人数	151	49	53	**50**	11	1
	構成比（%）		32.5	35.1	**33.1**	7.3	0.7

※151名の回答者（保護者）のうち、11名は対象となるお子さんが2人、2名はお子さんが3人いるため、構成比の合計が100%を越えています。

問４　発達に関する不安やお子さんがお持ちの手帳について、<u>あてはまるものすべてに○をつけてください。</u>

１．身体障害者手帳　２．愛の手帳　３．精神障害者保健福祉手帳
４．難病　５．高次脳機能障害　６．発達障害
７．医療的ケア（たん吸引、経管栄養、酸素吸入等）
８．定期的な服薬や自己注射　９．小さく産まれた子どもの発達に関する不安
10．言語発達に関する不安　11．運動発達に関する不安
12．多動や衝動性等行動に関する不安
13．対人関係等コミュニケーションに関する不安
14．その他　15．特になし

- お子さんがお持ちの手帳については、「愛の手帳」をお持ちのお子さんが52%、次いで「身体障害者手帳」が16%となっています。また、「発達障害」が約37%となっています。
- お子さんの発達に関する不安については、「言語発達に関する不安」と「対人関係等コミュニケーションに関する不安」が約43%、「運動発達に関する不安」が約31%となっています。

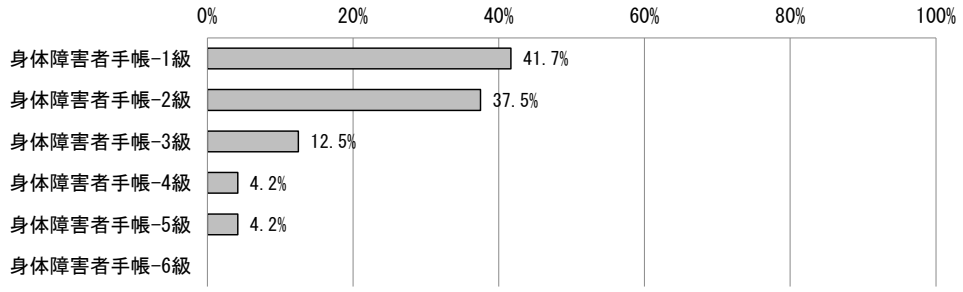


		回答者数	1．身体障害者手帳	2．愛の手帳	3．精神障害者保健福祉手帳	4．難病	5．高次脳機能障害	6．発達障害	7．医療的ケア（たん吸引、経管栄養、酸素吸入等）	8．定期的な服薬や自己注射
児童	人数	150	24	78	4	8	3	55	8	12
	構成比（%）	100.0	16.0	52.0	2.7	5.3	2.0	36.7	5.3	8.0

9．小さく産まれた子どもの発達に関する不安	10．言語発達に関する不安	11．運動発達に関する不安	12．多動や衝動性等行動に関する不安	13．対人関係等コミュニケーションに関する不安	14．その他	15．特になし
6	64	46	28	64	14	1
4.0	42.7	30.7	18.7	42.7	9.3	0.7

問４－２　身体障害者手帳の級数（知的障害の方、精神障害の方、難病の方は、重複して身体障害者手帳を保有している場合の、身体障害者手帳の級数です。）

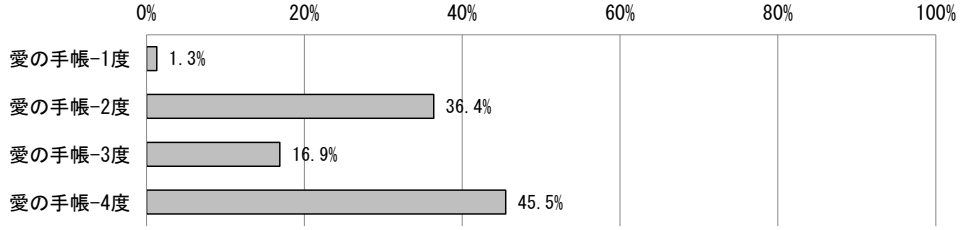
・身体障害者手帳の級数は、「１級」が約42%、「2級」が約38%となっています。



		回答者数	身体障害者手帳-1級	身体障害者手帳-2級	身体障害者手帳-3級	身体障害者手帳-4級	身体障害者手帳-5級	身体障害者手帳-6級
児童	人数	24	10	9	3	1	1	0
	構成比（%）	100.0	41.7	37.5	12.5	4.2	4.2	0.0

問４－３　愛の手帳の度数（身体障害の方、精神障害の方、難病の方は、重複して愛の手帳を保有している場合の、愛の手帳の度数です。）

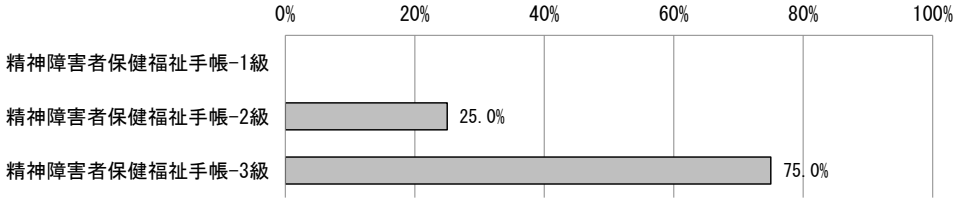
・愛の手帳の度数は、「4度」が約46%と最も多く、次いで「2度」が約36%となっています。



		回答者数	愛の手帳-1度	愛の手帳-2度	愛の手帳-3度	愛の手帳-4度
児童	人数	77	1	28	13	35
	構成比（%）	100.0	1.3	36.4	16.9	45.5

問４－４　精神障害者保健福祉手帳の級数（身体障害の方、精神障害の方、難病の方は、重複して精神障害者保健福祉手帳を保有している場合の、精神障害者保健福祉手帳の級数です。）

・精神障害者保健福祉手帳の級数は、「3級」が75%となっています。



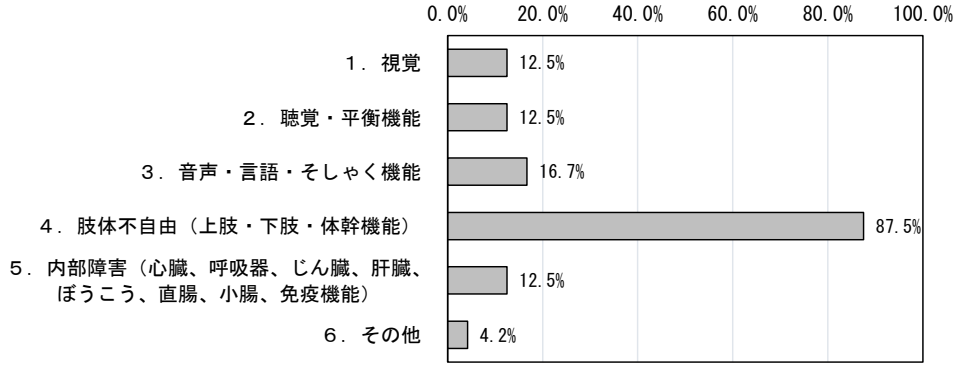
		回答者数	精神障害者保健福祉手帳-1級	精神障害者保健福祉手帳-2級	精神障害者保健福祉手帳-3級
児童	人数	4	0	1	3
	構成比（%）	100.0	0.0	25.0	75.0

★身体障害者手帳をお持ちの場合にお聞きします。

問４－Ａ　主な障害の部位は次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

１．視覚　　２．聴覚・平衡機能　　３．音声・言語・そしゃく機能
４．肢体不自由（上肢・下肢・体幹機能）
５．内部障害（心臓、呼吸器、じん臓、肝臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能）
６．その他

・身体障害者手帳をお持ちのお子さんの主な障害の部位は、「肢体不自由」が約88%となっており、次いで「音声・言語・そしゃく機能」が約17%となっています。



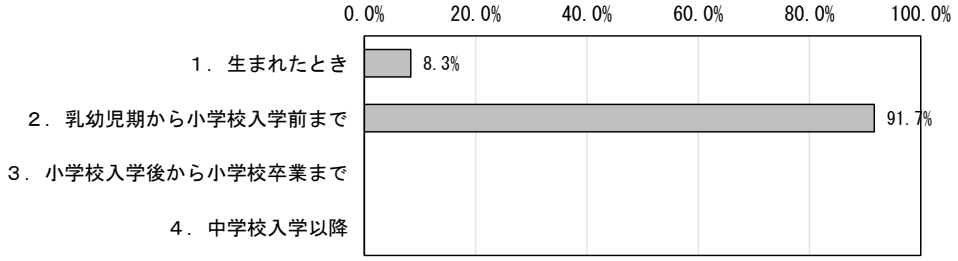
		回答者数	1．視覚	2．聴覚・平衡機能	3．音声・言語・そしゃく機能	4．肢体不自由	5．内部障害	6．その他
児童	人数	24	3	3	4	21	3	1
	構成比（%）	100.0	12.5	12.5	16.7	87.5	12.5	4.2

問５　障害者手帳をはじめて交付されたのはいつですか。（１つに○）

１．生まれたとき　　２．乳幼児期から小学校入学前まで
３．小学校入学後から小学校卒業まで　　４．中学校入学以降

「乳幼児期から小学校入学前まで」が約 92%

・障害者手帳をはじめて交付された時期は、「乳幼児から小学校入学前まで」が約92%となっており、次いで「生まれたときから」が約８%となっています。



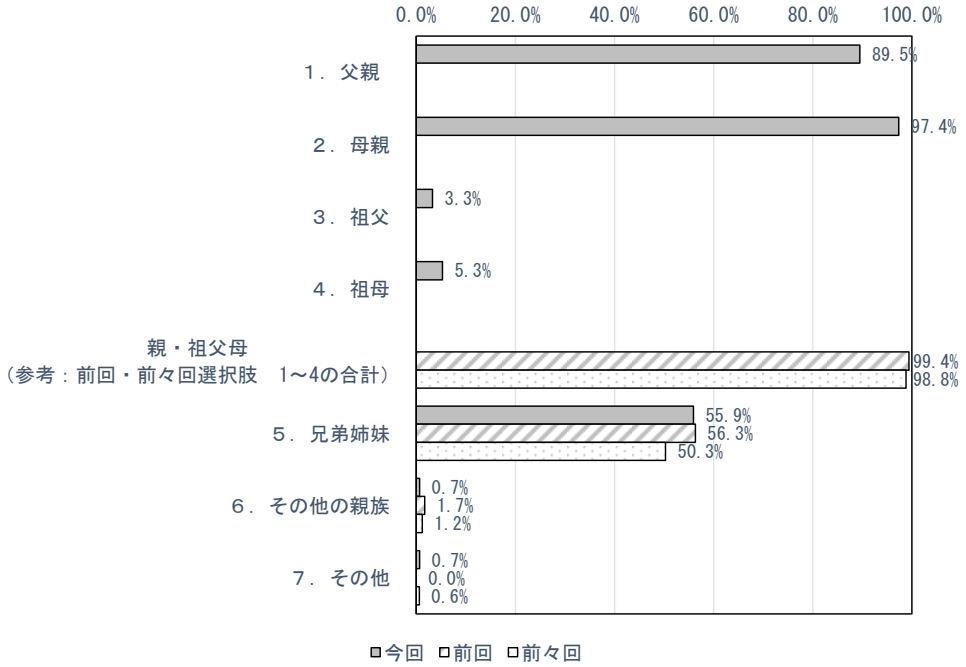
		回答者数	1．生まれたときら	2．乳幼児期から小学校入学前まで	3．小学校入学後から小学校卒業まで	4．中学校入学以降
児童	人数	24	**2**	22	0	0
	構成比（%）	100.0	**8.3**	91.7	0.0	0.0

問６　お子さんは、どなたと一緒に暮らしていますか。（あてはまるものすべてに○）

１．父親　　２．母親　　３．祖父
４．祖母　　５．兄弟姉妹　　６．その他の親族
７．その他

「母親」が約 97%、「父親」が約 90%

・お子さんが一緒に暮らしている方は、「母親」が約97%、「父親」が約90%となっています。
・なお、今回調査の「３．父親、４．母親、５．祖父、６．祖母」については、前回及び前々回調査においては、「親・祖父母」として選択肢を合わせていたため、参考データとして示しています。



		回答者数	1. 父親	2. 母親	3. 祖父	4. 祖母	5. 兄弟姉妹	6. その他の親族	7. その他
児童	人数	152	**136**	148	5	8	85	1	1
	構成比(%)	100.0	**89.5**	97.4	3.3	5.3	55.9	0.7	0.7

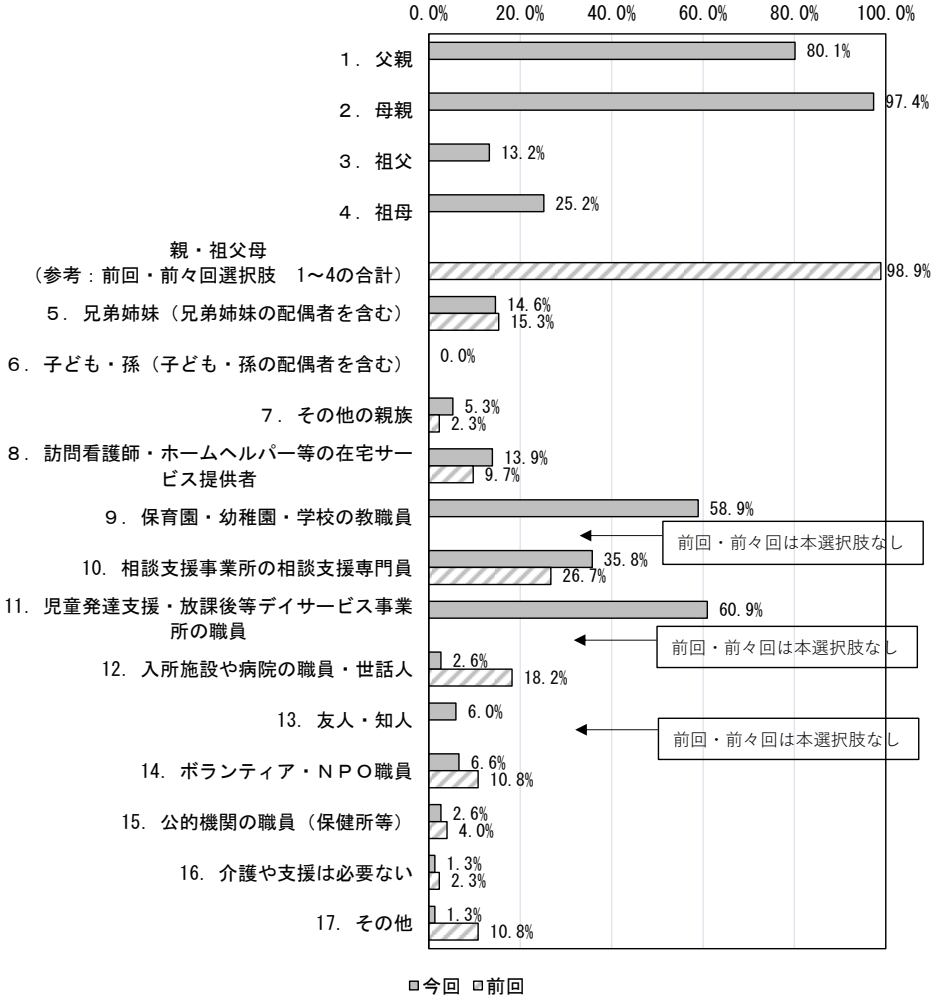
問７　お子さんの介護や支援をしている方はどなたですか。

そのうち、主に介護や支援をしている方はどなたですか。介護や支援をしている人（あてはまるものすべてに○）

１．父親　　２．母親　　３．祖父　　４．祖母
５．兄弟姉妹（兄弟姉妹の配偶者を含む）
６．子ども・孫（子ども・孫の配偶者を含む）
７．その他の親族　　８．訪問看護師・ホームヘルパーなどの在宅サービス提供者
９．保育園・幼稚園・学校の教職員
10．相談支援事業所の相談支援専門員
11．児童発達支援・放課後等デイサービス事業所の職員
12．入所施設や病院の職員・世話人　　13．友人・知人
14．ボランティア・ＮＰＯ職員　　15．公的機関の職員（保健所等）
16．介護や支援は必要ない　　17．その他

主たる介護・支援者は「母親」が約 97%

・お子さんの介護や支援をしている方は、「母親」が最も多く、約97%に上っています。
・前回調査と比較すると、「訪問看護師・ホームヘルパーなどの在宅サービス提供者」や「相談支援事業所の相談支援専門員」などは増加していますが、「入所施設や病院の職員・世話人」、「ボランティア・ＮＰＯ職員」などは減少しています。

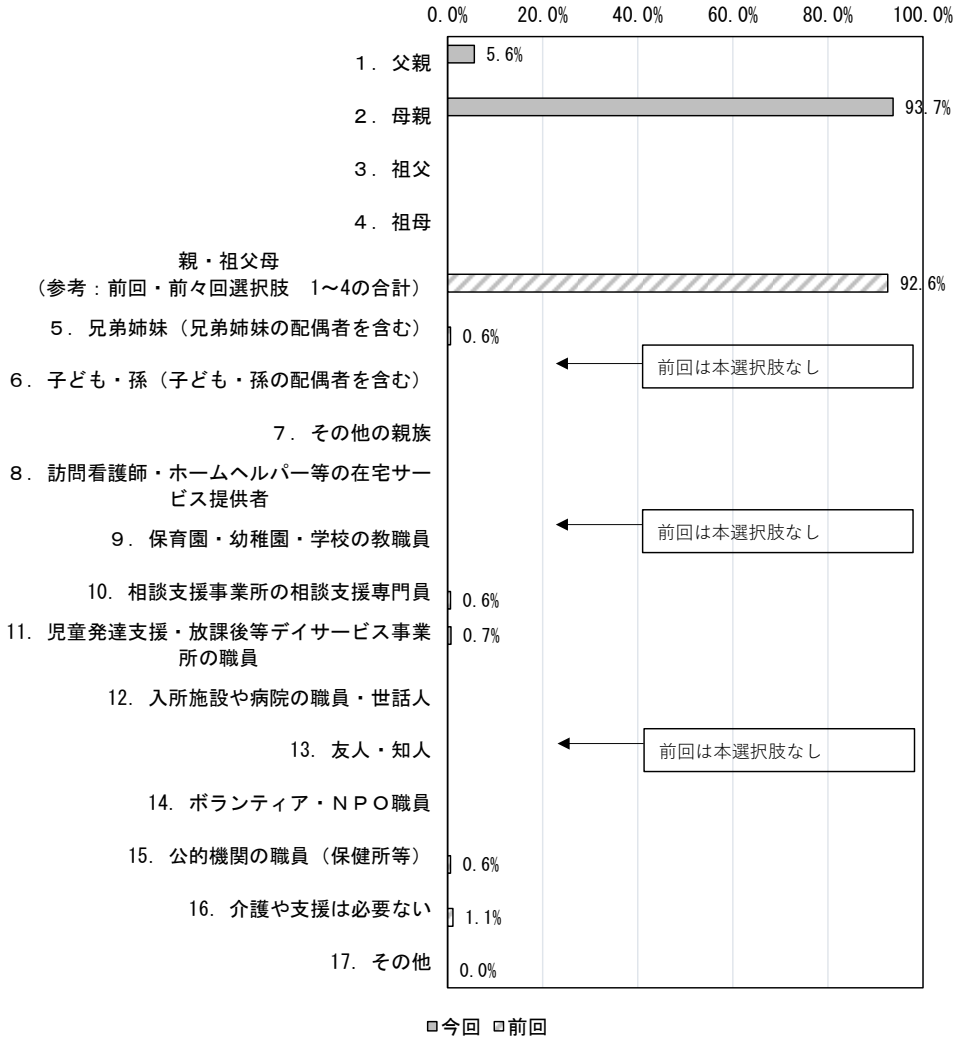


		回答者数	1. 父親	2. 母親	3. 祖父	4. 祖母	5. 兄弟姉妹	6. 子ども・孫	7. その他の親族	8. 訪問看護師・ホームヘルパー等の在宅サービス提供者	9. 保育園・幼稚園・学校の教職員
児童	人数	151	**121**	147	20	38	22	0	8	21	89
	構成比（%）		**80.1**	97.4	13.2	25.2	14.6	0.0	5.3	13.9	58.9

10. 相談支援事業所の相談支援専門員	11. 児童発達支援・放課後等デイサービス事業所の職員	12. 入所施設や病院の職員・世話人	13. 友人・知人	14. ボランティア・NPO職員	15. 公的機関の職員（保健所等）	16. 介護や支援は必要ない	17. その他
54	92	4	9	10	4	2	2
35.8	60.9	2.6	6.0	6.6	2.6	1.3	1.3

問７－Ａ　上記で○をつけた人のうち、主に介護や支援をしている人の番号を右枠に１つご記入ください。

•問７で回答した介護•支援者の中で、主にお子さんの介護や支援をしている方は、「母親」が約94％に上っています。



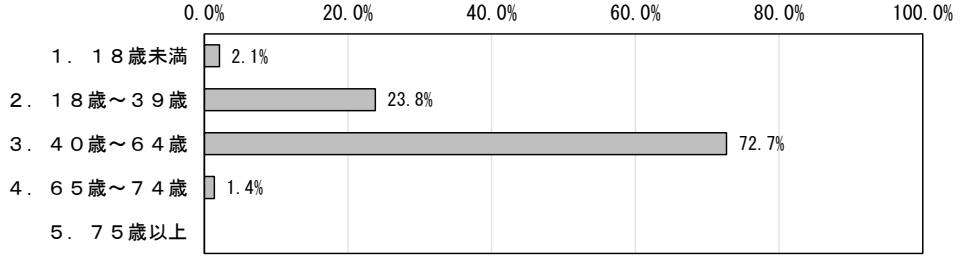
		回答者数	1. 父親	2. 母親	3. 祖父	4. 祖母	5. 兄弟姉妹（兄弟姉妹の配偶者を含む）	6. 子ども・孫（子ども・孫の配偶者を含む）	7. その他の親族	8. 訪問看護師・ホームヘルパー等の在宅サービス提供者	9. 保育園・幼稚園・学校の教職員
児童	人数	143	8	134	0	0	0	0	0	0	0
	構成比（%）	100.0	5.6	93.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

10. 相談支援事業所の相談支援専門員	11. 児童発達支援・放課後等デイサービス事業所の職員	12. 入所施設や病院の職員・世話人	13. 友人・知人	14. ボランティア・NPO職員	15. 公的機関の職員（保健所等）	16. 介護や支援は必要ない	17. その他
0	1	0	0	0	0	0	0
0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問７－Ｂ　問７－Ａの「主に介護や支援をしている人」の年齢はいくつですか。
（１つに○）

１．１８歳未満　　２．１８歳～３９歳　　３．４０歳～６４歳
４．６５歳～７４歳　　５．７５歳以上

・問７－Ａで回答した主に介護や支援をしている方の年齢は、「４０歳～６４歳」が約73%となっています。



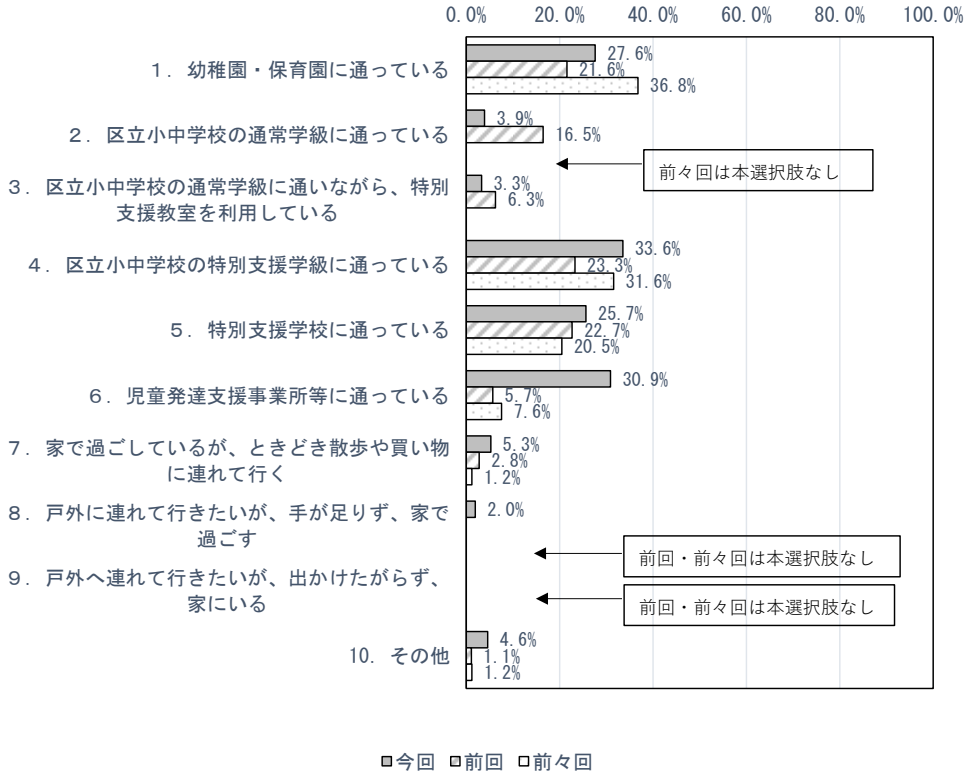
		回答者数	1．18歳未満	2．18歳～39歳	3．40歳～64歳	4．65歳～74歳	5．75歳以上
児童	人数	143	3	**34**	104	2	0
	構成比（%）	100.0	2.1	**23.8**	72.7	1.4	0.0

問８　お子さんは、平日の日中、どのように過ごしていますか。
（あてはまるものすべてに○）

１．幼稚園・保育園に通っている
２．区立小中学校の通常学級に通っている
３．区立小中学校の通常学級に通いながら、特別支援教室を利用している
４．区立小中学校の特別支援学級に通っている
５．特別支援学校に通っている
６．児童発達支援事業所等に通っている
７．家で過ごしているが、ときどき散歩や買い物に連れて行く
８．戸外に連れて行きたいが、手が足りず、家で過ごす
９．戸外へ連れて行きたいが、出かけたがらず、家にいる
10．その他

「区立小中学校の特別支援学級に通っている」が約 34%

- お子さんの平日日中の過ごし方は、「区立小中学校の特別支援学級に通っている」が約34%、「児童発達支援事業所等に通っている」が約31%となっています。
- 「児童発達支援事業所等に通っている」は、前回調査では約６%となっていたものが、今回調査では約31%と、約25%増加となっています。



		回答者数	1. 幼稚園・保育園に通っている	2. 区立小中学校の通常学級に通っている	3. 区立小中学校の通常学級に通いながら、特別支援教室を利用している	4. 区立小中学校の特別支援学級に通っている	5. 特別支援学校に通っている	6. 児童発達支援事業所等に通っている	7. 家で過ごしているが、ときどき散歩や買い物に連れて行く	8. 戸外に連れて行きたいが、手が足りず、家で過ごす	9. 戸外へ連れて行きたいが、出かけたがらず、家にいる	10. その他
児童	人数	152	42	6	5	51	39	**47**	8	3	0	7
	構成比（%）		27.6	3.9	3.3	33.6	25.7	**30.9**	5.3	2.0	0.0	4.6

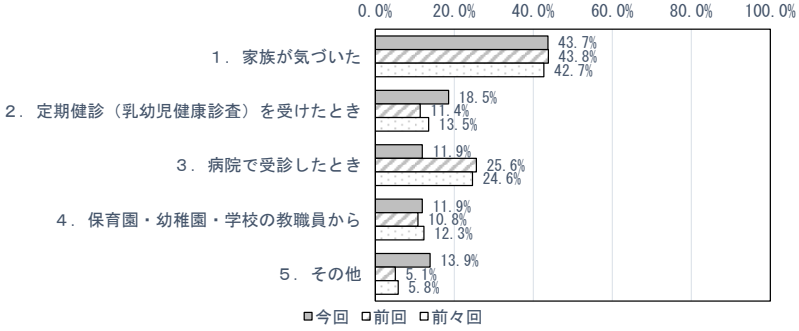
発達の不安や障害に気づいた時について（問９～問 11）

問９　お子さんの発達の不安や障害に気づいたきっかけは何ですか。また、それはいつごろですか。気づいたきっかけ（１つに○）

１．家族が気づいた　　２．定期健診（乳幼児健康診査）を受けたとき
３．病院で受診したとき　　４．保育園・幼稚園・学校の教職員から
５．その他

「家族が気づいた」が約 44%

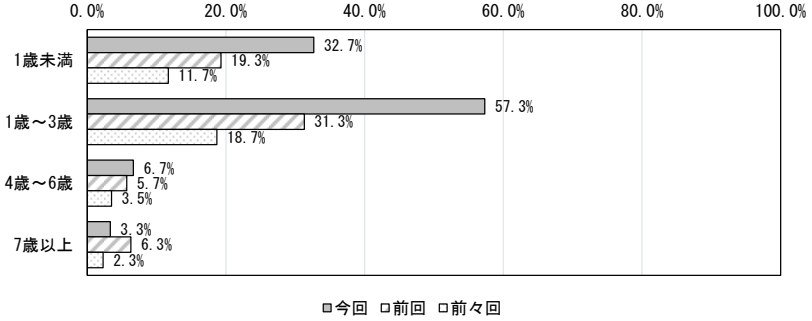
・お子さんの発達の不安や障害に気づいたきっかけは、「家族が気づいた」が約44%と最も多く、次いで「定期健診（乳幼児健康診査）を受けたとき」が約19%となっています。



		回答者数	1．家族が気づいた	2．定期健診（乳幼児健康診査）を受けたとき	3．病院で受診したとき	4．保育園・幼稚園・学校の教職員から	5．その他
児童	人数	151	66	**28**	18	18	21
	構成比（%）	100.0	43.7	**18.5**	11.9	11.9	13.9

問９－Ａ　発達の不安や障害に気づいたお子さんの年齢を右枠にご記入ください。

・発達の不安や障害に気づいた時のお子さんの年齢は、「1歳～3歳」が約57%と最も多く、次いで「1歳未満」が約33%となっています。



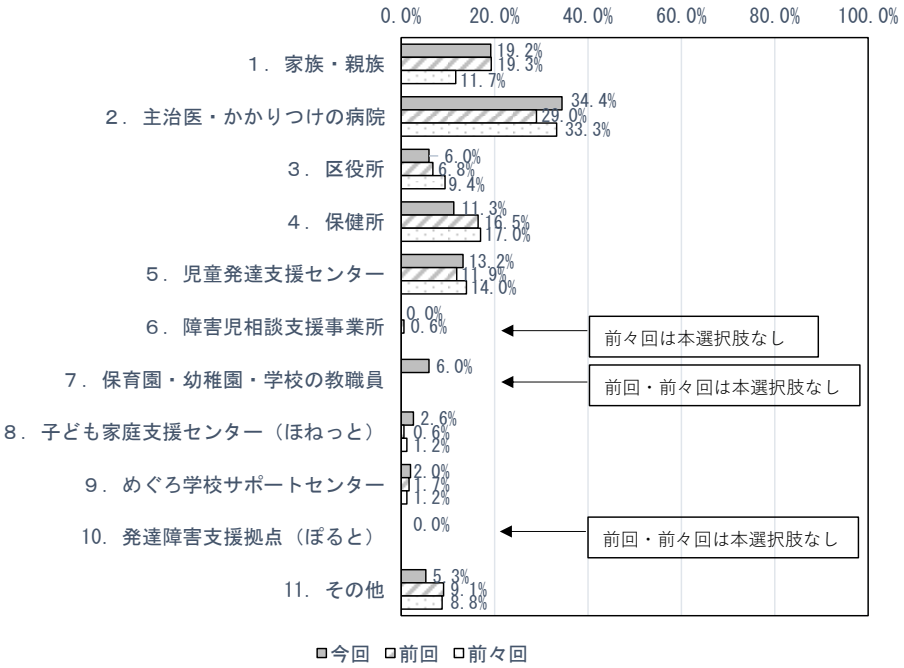
		回答者数	1歳未満	1歳～3歳	4歳～6歳	7歳以上
児童	人数	150	**49**	86	10	5
	構成比（%）	100.0	**32.7**	57.3	6.7	3.3

問 10　お子さんの発達の不安や障害に気づいたとき、誰（どこ）に相談しましたか。
（１つに○）

１．家族・親族
２．主治医・かかりつけの病院
３．区役所
４．保健所
５．児童発達支援センター
６．障害児相談支援事業所
７．保育園・幼稚園・学校の教職員
８．子ども家庭支援センター（ほねっと）
９．めぐろ学校サポートセンター
10．発達障害支援拠点（ぽると）
11．その他

「主治医・かかりつけの病院」への相談が約 34%

・お子さんの発達の不安や障害に気づいたときの相談先については、「主治医・かかりつけの病院」が約34%と最も多く、次いで「家族・親族」が約19%となっています。



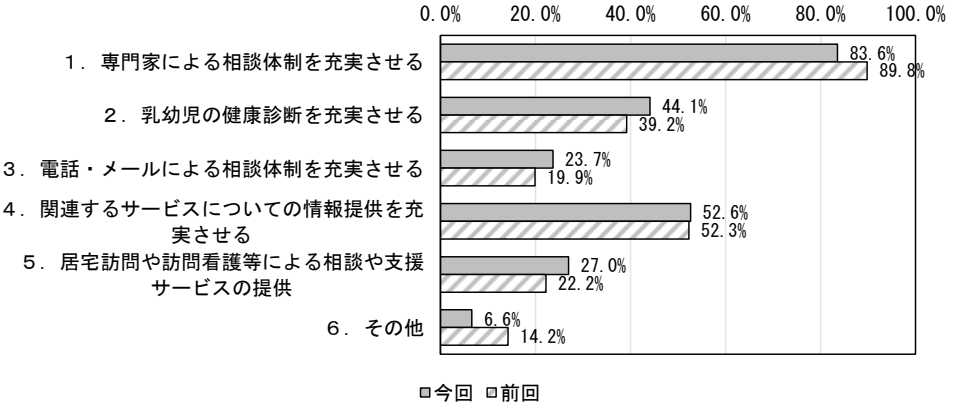
		回答者数	1．家族・親族	2．主治医・かかりつけの病院	3．区役所	4．保健所	5．児童発達支援センター	6．障害児相談支援事業所	7．保育園・幼稚園・学校の教職員	8．子ども家庭支援センター（ほねっと）	9．めぐろ学校サポートセンター	10．発達障害支援拠点（ぽると）	11．その他
児童	人数	151	**29**	52	9	17	20	0	9	4	3	0	8
	構成比（%）	100.0	**19.2**	34.4	6.0	11.3	13.2	0.0	6.0	2.6	2.0	0.0	5.3

問 11　発達に関する不安や障害のあるお子さんが、早期に適切な支援を受けるために必要なことは何だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

１．専門家による相談体制を充実させる
２．乳幼児の健康診断を充実させる
３．電話・メールによる相談体制を充実させる
４．関連するサービスについての情報提供を充実させる
５．居宅訪問や訪問看護等による相談や支援サービスの提供
６．その他

「専門家による相談体制を充実させる」が約 84%

- 発達に関する不安や障害のあるお子さんが早期に適切な支援を受けるために必要なことについては、「専門家による相談体制を充実させる」が約84%と最も多く、次いで「関連するサービスについての情報提供を充実させる」が約53%となっています。
- 前回調査と比較すると、「専門家による相談体制を充実させる」はやや減少し、「乳幼児の健康診断を充実させる」や「電話・メールによる相談体制を充実させる」、「居宅訪問や訪問看護等による相談や支援サービスの提供」は増加しています。



		回答者数	1. 専門家による相談体制を充実させる	2. 乳幼児の健康診断を充実させる	3. 電話・メールによる相談体制を充実させる	4. 関連するサービスについての情報提供を充実させる	5. 居宅訪問や訪問看護等による相談や支援サービスの提供	6. その他
児童	人数	152	127	67	36	**80**	41	10
	構成比（%）		83.6	44.1	23.7	**52.6**	27.0	6.6

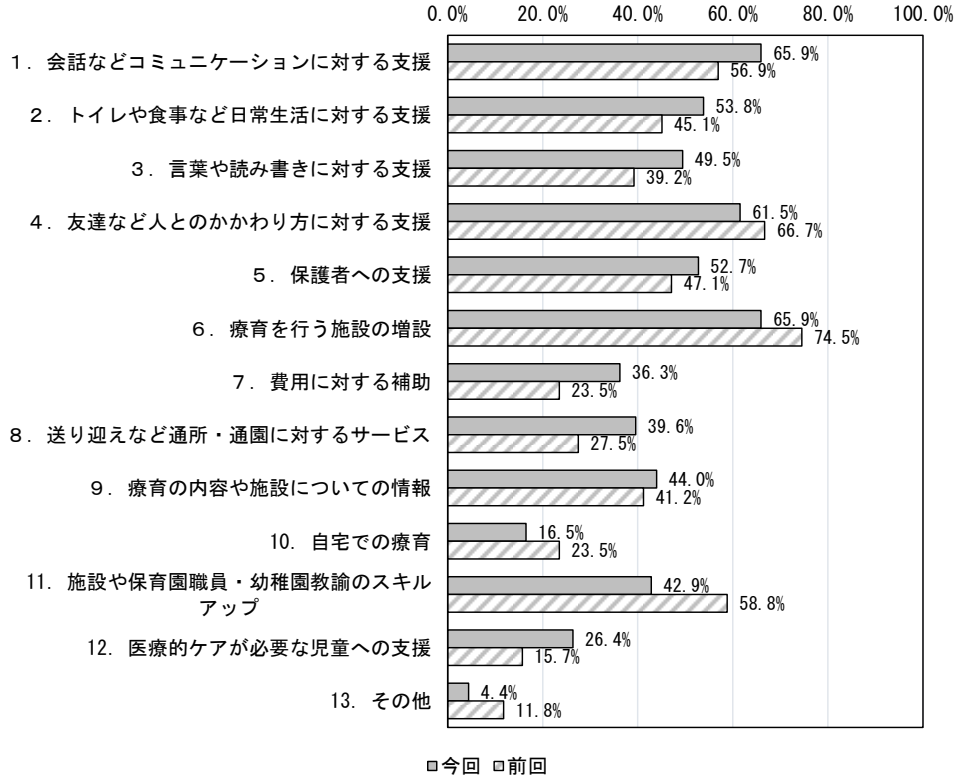
お子さんの教育・療育について（問 12～問 16）

問 12　お子さんが受けている療育や支援について充実させるべきだと思うことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1．会話などコミュニケーションに対する支援
2．トイレや食事など日常生活に対する支援
3．言葉や読み書きに対する支援
4．友達など、人との関わり方に対する支援
5．保護者への支援
6．療育を行う施設の増設
7．費用に対する補助
8．送り迎えなど、通所・通園に対するサービス
9．療育の内容や施設についての情報
10．自宅での療育
11．療育施設や保育園職員・幼稚園教諭のスキルアップ
12．医療的ケアが必要な児童への支援
13．その他

「会話などコミュニケーションに対する支援」「療育を行う施設の増設」が約 66%

・就学前のお子さんが受けている療育や支援について、さらに充実させるべきだと思うことについては、「会話などコミュニケーションに対する支援」「療育を行う施設の増設」が約66%と最も多く、次いで、「友達など人との関わり方に対する支援」が約62%となっています。



		回答者数	1. 会話などコミュニケーションに対する支援	2. トイレや食事など日常生活に対する支援	3. 言葉や読み書きに対する支援	4. 友達など人とのかかわり方に対する支援	5. 保護者への支援	6. 療育を行う施設の増設	7. 費用に対する補助	8. 送り迎えなど通所・通園に対するサービス
児童	人数	91	60	49	45	56	48	60	33	36
	構成比（%）		65.9	53.8	49.5	61.5	52.7	65.9	36.3	39.6

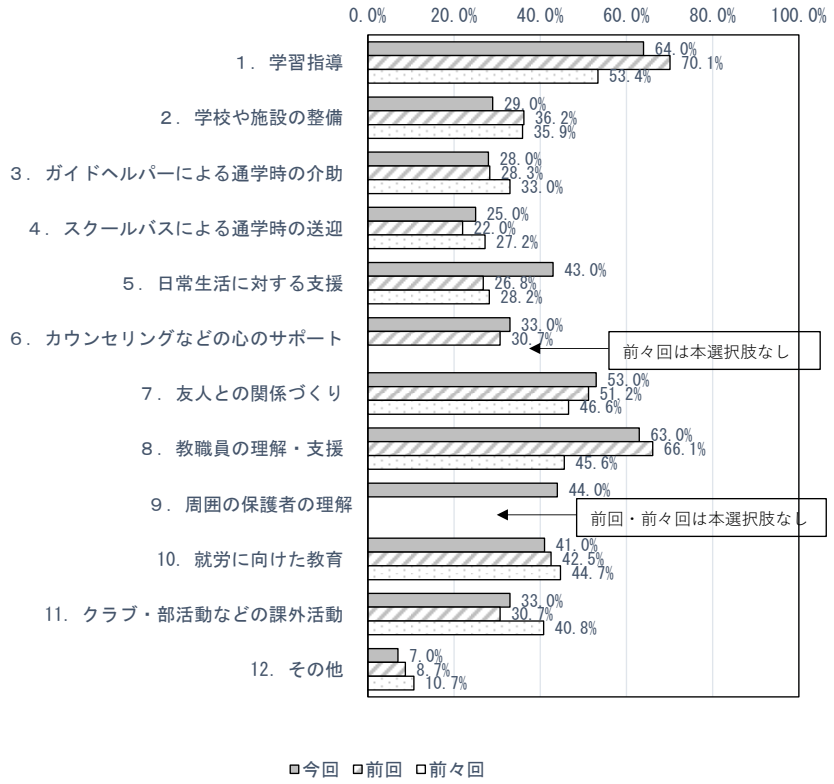
9. 療育の内容や施設についての情報	10. 自宅での療育	11. 施設や保育園職員・幼稚園教諭のスキルアップ	12. 医療的ケアが必要な児童への支援	13. その他
40	15	39	24	4
44.0	16.5	42.9	26.4	4.4

問 13　お子さんが受けている教育や学校生活について充実させるべきだと思うことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1．学習指導　　2．学校や施設の整備
3．ガイドヘルパーによる通学時の介助　　4．スクールバスによる通学時の送迎
5．日常生活に対する支援　　6．カウンセリングなどの心のサポート
7．友人との関係づくり　　8．教職員の理解・支援
9．周囲の保護者の理解　　10．就労に向けた教育
11．クラブ・部活動などの課外活動　　12．その他

「学習指導」が 64%、「教職員の理解・支援」が 63%

・就学中のお子さんが受けている教育や学校生活で充実させるべきだと思う点については、「学習指導」が64%で最も多く、次いで「教職員の理解・支援」が63%、「友人との関係づくり」が53%となっています。



		回答者数	1. 学習指導	2. 学校や施設の整備	3. ガイドヘルパーによる通学時の介助	4. スクールバスによる通学時の送迎	5. 日常生活に対する支援	6. カウンセリングなどの心のサポート	7. 友人との関係づくり	8. 教職員の理解・支援
児童	人数	100	64	29	28	25	43	33	53	**63**
	構成比（%）		64.0	29.0	28.0	25.0	43.0	33.0	53.0	**63.0**

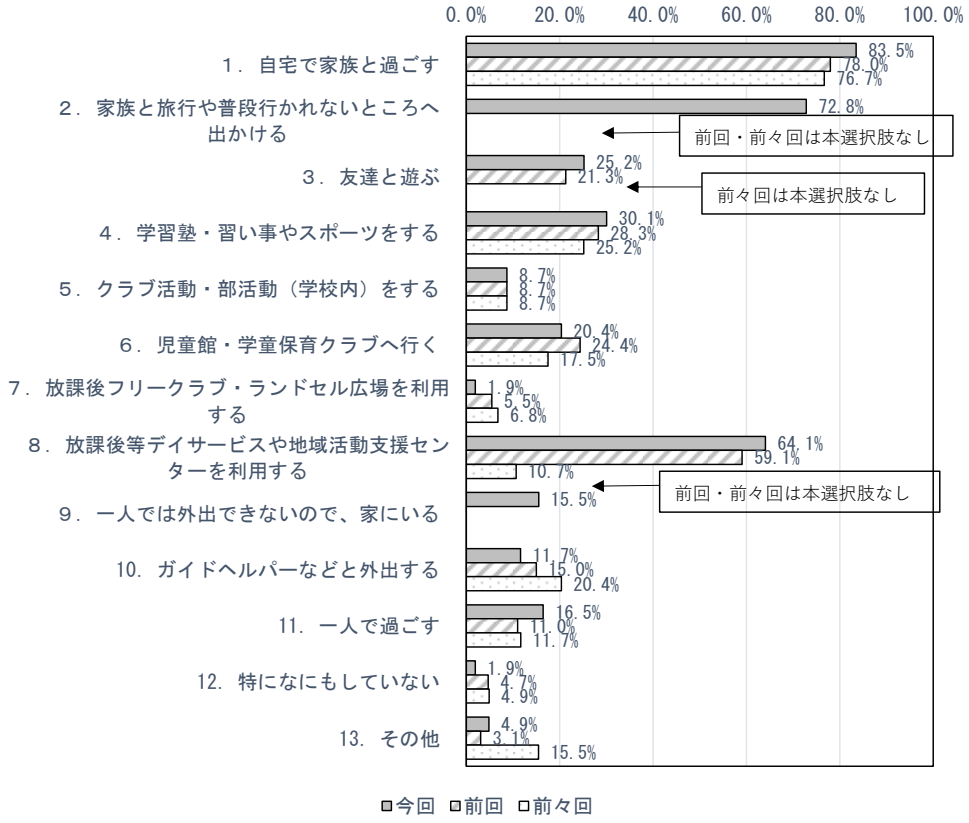
9. 周囲の保護者の理解	10. 就労に向けた教育	11. クラブ・部活動などの課外活動	12. その他
44	41	33	7
44.0	41.0	33.0	7.0

問 14　お子さんは、放課後や夏休みなどの長期休業中は、どのように過ごしていますか。（あてはまるものすべてに○）

1．自宅で家族と過ごす
2．家族と旅行や普段行かれないところへ出かける
3．友達と遊ぶ
4．学習塾・習い事やスポーツなどをする
5．クラブ活動・部活動（学校内）をする
6．児童館・学童保育クラブへ行く
7．放課後フリークラブ・ランドセル広場を利用する
8．放課後等デイサービスや地域活動支援センターを利用する
9．一人では外出できないので、家にいる
10．ガイドヘルパーなどと外出する
11．一人で過ごす
12．特になにもしていない
13．その他

「自宅で家族と過ごす」が約 84%

・就学中のお子さんが放課後や長期休業中の過ごし方については、「自宅で家族と過ごす」が約84%と最も多く、次いで「家族と旅行や普段行かれないところへ出かける」が73%、「放課後等デイサービスや地域活動支援センターを利用する」が約64%となっています。



		回答者数	1. 自宅で家族と過ごす	2. 家族と旅行や普段行かれないところへ出かける	3. 友達と遊ぶ	4. 学習塾・習い事やスポーツをする	5. クラブ活動・部活動(学校内)をする	6. 児童館・学童保育クラブへ行く	7. 放課後フリークラブ・ランドセル広場を利用する	8. 放課後等デイサービスや地域活動支援センターを利用する
児童	人数	103	86	**75**	26	31	9	21	2	66
	構成比(%)		83.5	**72.8**	25.2	30.1	8.7	20.4	1.9	64.1

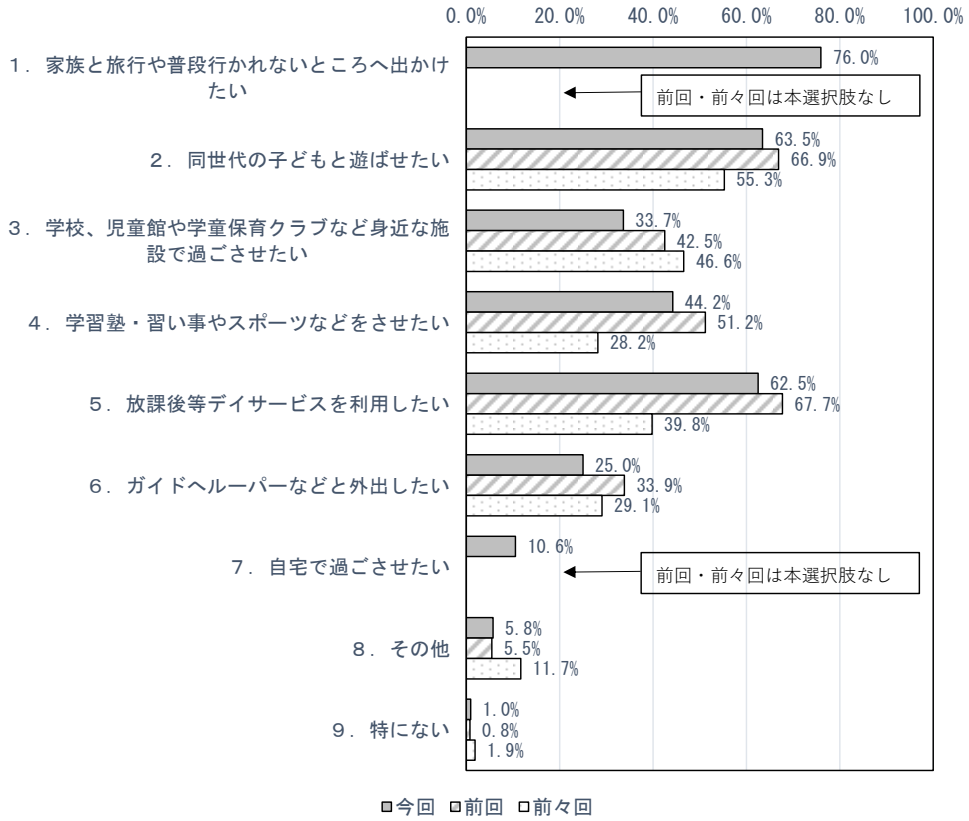
9. 一人では外出できないので、家にいる	10. ガイドヘルパーなどと外出する	11. 一人で過ごす	12. 特になにもしていない	13. その他
16	12	17	2	5
15.5	11.7	16.5	1.9	4.9

問 15　あなたは、放課後や長期休業中など、学校以外の時間をどのように過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1．家族と旅行や普段行かれないところへ出かけたい
2．同世代の子どもと遊ばせたい
3．学校、児童館や学童保育クラブなど身近な施設で過ごさせたい
4．学習塾・習い事やスポーツなどをさせたい
5．放課後等デイサービスを利用したい
6．ガイドヘルパーなどと外出したい
7．自宅で過ごさせたい
8．その他　　9．特にない

「家族と旅行や普段行かれないところへ出かけたい」が 76%

・就学中のお子さんが放課後や長期休業中の過ごし方の希望については、「家族と旅行や普段行かれないところへ出かけたい」が76%、「同世代の子どもと遊ばせたい」が約64%、「放課後等デイサービスを利用したい」が約63%となっています。



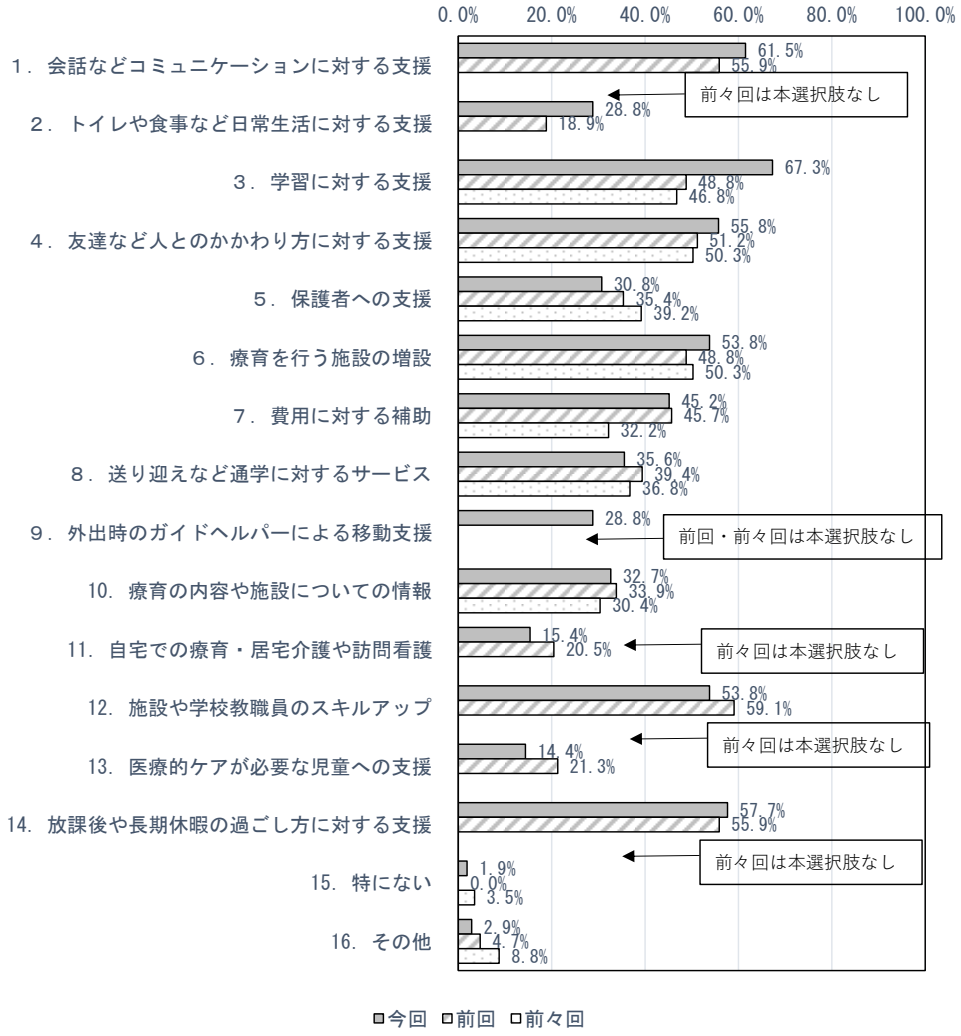
		回答者数	1. 家族と旅行や普段行かれないところへ出かけたい	2. 同世代の子どもと遊ばせたい	3. 学校、児童館や学童保育クラブなど身近な施設で過ごさせたい	4. 学習塾・習い事やスポーツなどをさせたい	5. 放課後等デイサービスを利用したい	6. ガイドヘルーパーなどと外出したい	7. 自宅で過ごさせたい	8. その他	9. 特にない
児童	人数	104	79	**66**	35	46	65	26	11	6	1
	構成比（%）		76.0	**63.5**	33.7	44.2	62.5	25.0	10.6	5.8	1.0

問 16　お子さんが受けている療育や支援について、充実させるべきだと思う点はありますか。（あてはまるものすべてに○）

1．会話などコミュニケーションに対する支援
2．トイレや食事など日常生活に対する支援
3．学習に対する支援　　4．友達など人とのかかわり方に対する支援
5．保護者への支援　　6．療育を行う施設の増設
7．費用に対する補助　　8．送り迎えなど通学に対するサービス
9．外出時のガイドヘルパーによる移動支援　10．療育の内容や施設についての情報
11．自宅での療育・居宅介護や訪問看護　　12．施設や学校教職員のスキルアップ
13．医療的ケアが必要な児童への支援
14．放課後や長期休暇の過ごし方に対する支援　　15．特にない　　16．その他

「学習に対する支援」が約 67%

・お子さんが受けている療育や支援で充実させるべき点については、「学習に対する支援」約67%で、前回調査との比較では約19%増加しており、次いで「会話などコミュニケーションに対する支援」が約62%、「友達など人とのかかわり方に対する支援」が約56%となっています。



		回答者数	1. 会話などコミュニケーションに対する支援	2. トイレや食事など日常生活に対する支援	3. 学習に対する支援	4. 友達など人とのかかわり方に対する支援	5. 保護者への支援	6. 療育を行う施設の増設	7. 費用に対する補助	8. 送り迎えなど通学に対するサービス
児童	人数	104	**64**	30	70	58	32	56	47	37
	構成比（%）		**61.5**	28.8	67.3	55.8	30.8	53.8	45.2	35.6

9. 外出時のガイドヘルパーによる移動支援	10. 療育の内容や施設についての情報	11. 自宅での療育・居宅介護や訪問看護	12. 施設や学校教職員のスキルアップ	13. 医療的ケアが必要な児童への支援	14. 放課後や長期休暇の過ごし方に対する支援	15. 特にない	16. その他
30	34	16	56	15	60	2	3
28.8	32.7	15.4	53.8	14.4	57.7	1.9	2.9

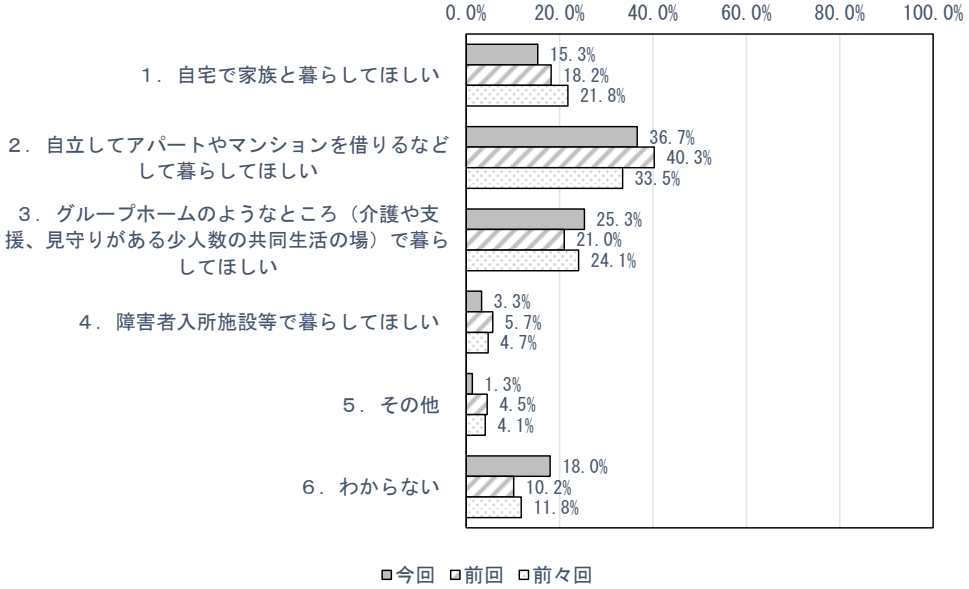
お子さんの将来のことについて（問 17～問 20）

問 17　お子さんには、将来どのように暮らしてほしいですか。（１つに○）

１．自宅で家族と暮らしてほしい
２．自立してアパートやマンションを借りるなどして暮らしてほしい
３．グループホームのようなところ（介護や支援、見守りがある少人数の共同生活の場）で暮らしてほしい
４．障害者入所施設等で暮らしてほしい
５．その他
６．わからない

「自立してアパートやマンションを借りるなどして暮らしてほしい」が約 37%

・お子さんの将来の暮らし方の希望については、「自立してアパートやマンションを借りるなどして暮らしてほしい」が約37%で最も多く、次いで「グループホームのようなところ（介護や支援、見守りがある少人数の共同生活の場）で暮らしてほしい」が約25%となっています。



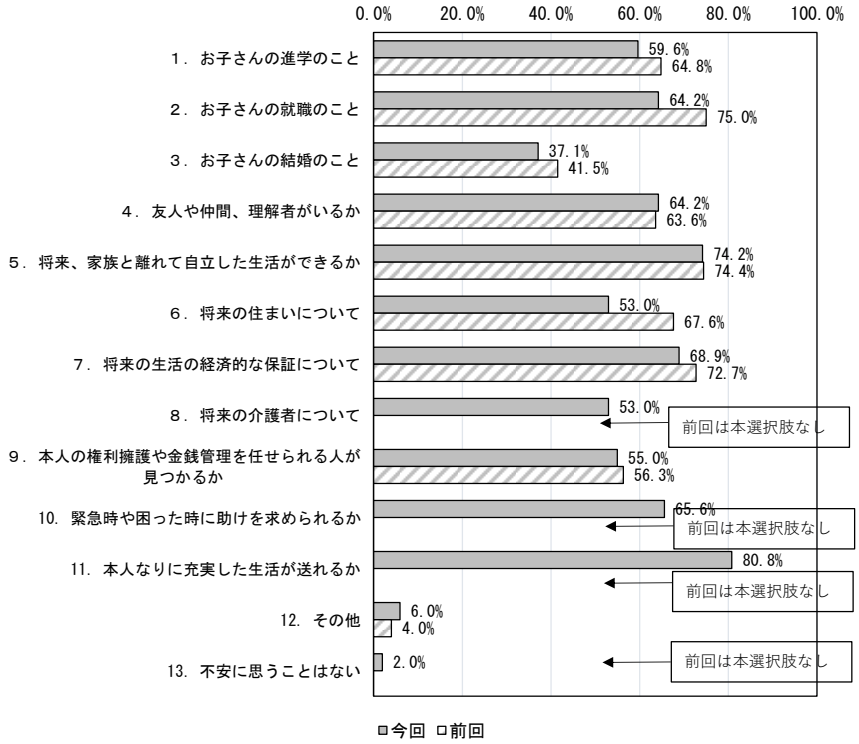
		回答者数	1. 自宅で家族と暮らしてほしい	2. 自立してアパートやマンションを借りるなどして暮らしてほしい	3. グループホームのようなところで暮らしてほしい	4. 障害者入所施設等で暮らしてほしい	5. その他	6. わからない
児童	人数	150	23	55	**38**	5	2	27
	構成比（%）	100.0	15.3	36.7	**25.3**	3.3	1.3	18.0

問 18　お子さんの将来のことで、不安に思うことはありますか。
（あてはまるものすべてに○）

1．お子さんの進学のこと　2．お子さんの就職のこと　3．お子さんの結婚のこと
4．友人や仲間、理解者がいるか
5．将来、家族と離れて自立した生活ができるか　6．将来の住まいについて
7．将来の生活の経済的な保証について　8．将来の介護者について
9．本人の権利擁護や金銭管理を任せられる人が見つかるか
10．緊急時や困った時に助けを求められるか
11．本人なりに充実した生活が送れるか
12．その他　13．不安に思うことはない

「本人なりに充実した生活が送れるか」が約 81%

・お子さんの将来のことで不安に思うことは、「本人なりに充実した生活が送れるか」が約81%と最も多く、次いで「将来、家族と離れて自立した生活ができるか」が約74%となっています。



		回答者数	1. お子さんの進学のこと	2. お子さんの就職のこと	3. お子さんの結婚のこと	4. 友人や仲間、理解者がいるか	5. 将来、家族と離れて自立した生活ができるか	6. 将来の住まいについて	7. 将来の生活の経済的な保証について	8. 将来の介護者について
児童	人数	151	90	97	56	97	**112**	80	104	80
	構成比（%）		59.6	64.2	37.1	64.2	**74.2**	53.0	68.9	53.0

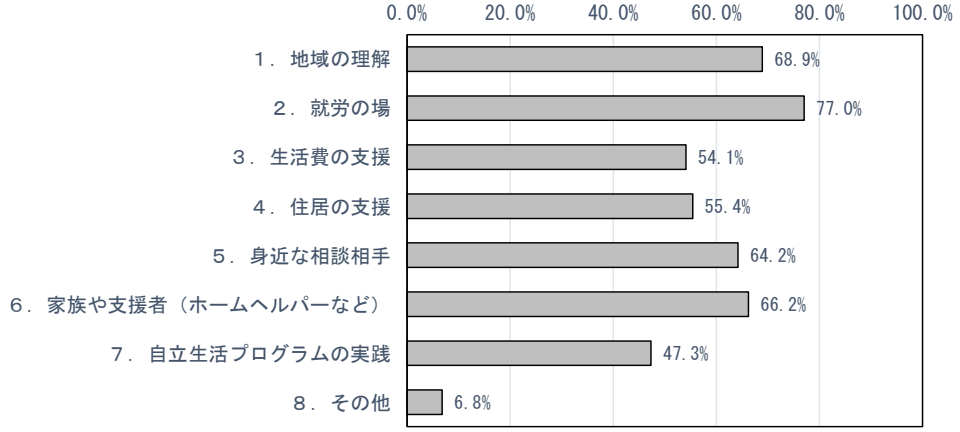
9. 本人の権利擁護や金銭管理を任せられる人が見つかるか	10. 緊急時や困った時に助けを求められるか	11. 本人なりに充実した生活が送れるか	12. その他	13. 不安に思うことはない
83	99	122	9	3
55.0	65.6	80.8	6.0	2.0

問 19　お子さんが、将来、地域で自立して生活するために、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

１．地域の理解　　２．就労の場
３．生活費の支援　　４．住居の支援
５．身近な相談相手　　６．家族や支援者（ホームヘルパーなど）
７．自立生活プログラムの実践　　８．その他

「就労の場」が 77%

・お子さんが将来自立して生活するために必要なことは、「就労の場」が77%と最も多く、次いで「地域の理解」が約69%、「家族や支援者（ホームヘルパー）」が約66%となっています。



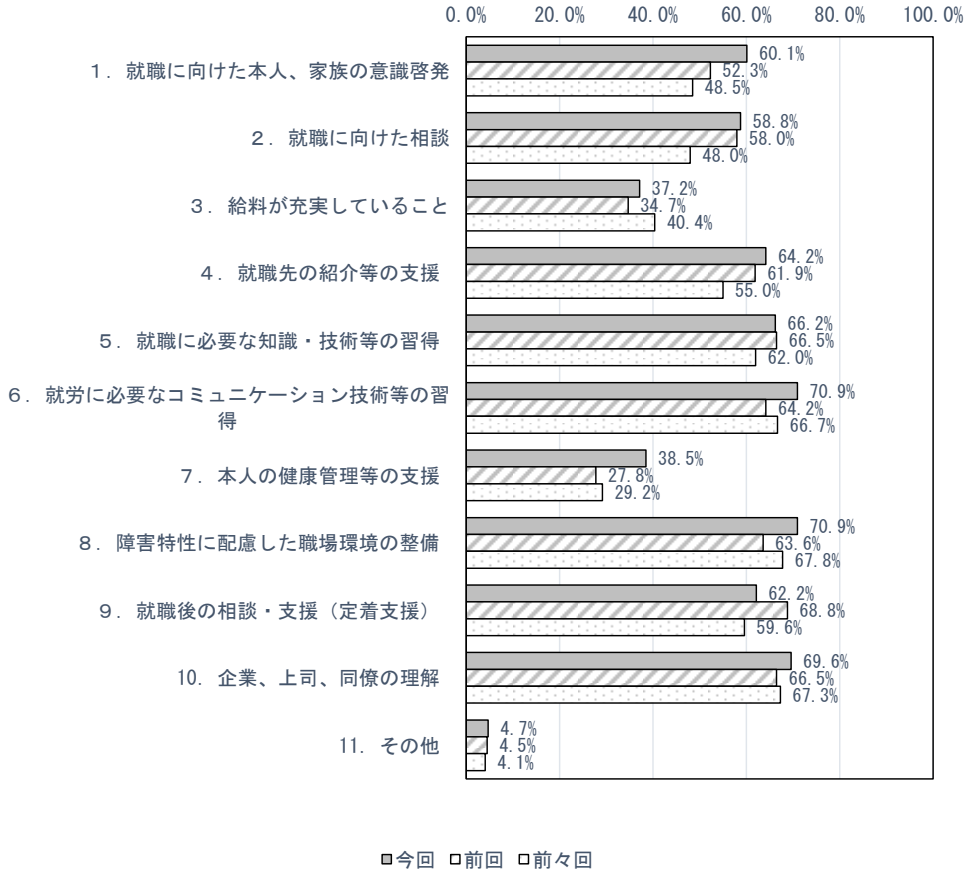
		回答者数	1. 地域の理解	2. 就労の場	3. 生活費の支援	4. 住居の支援	5. 身近な相談相手	6. 家族や支援者	7. 自立生活プログラムの実践	8. その他
児童	人数	148	**102**	114	80	82	95	98	70	10
	構成比（%）		**68.9**	77.0	54.1	55.4	64.2	66.2	47.3	6.8

問 20　お子さんが将来仕事に就くために重要だと思われることは何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

1．就職に向けた本人、家族の意識啓発　　2．就職に向けた相談
3．給料が充実していること　　4．就職先の紹介等の支援
5．就職に必要な知識・技術等の習得
6．就労に必要なコミュニケーション技術等の習得
7．本人の健康管理等の支援　　8．障害特性に配慮した職場環境の整備
9．就職後の相談・支援（定着支援）　　10．企業、上司、同僚の理解
11．その他

「就労に必要なコミュニケーション技術等の習得」
「障害特性に配慮した職場環境の整備」が約 71%

・お子さんが将来仕事に就くために重要だと思われることについては、「就労に必要な知識・技術等の習得」、「障害特性に配慮した職場環境の整備」が約71％と最も多く、次いで「企業、上司、同僚の理解」が約70％となっています。



		回答者数	1. 就職に向けた本人、家族の意識啓発	2. 就職に向けた相談	3. 給料が充実していること	4. 就職先の紹介等の支援	5. 就職に必要な知識・技術等の習得	6. 就労に必要なコミュニケーション技術等の習得	7. 本人の健康管理等の支援	8. 障害特性に配慮した職場環境の整備	9. 就職後の相談・支援（定着支援）	10. 企業、上司、同僚の理解	11. その他
児童	人数	148	89	87	55	95	98	105	57	105	92	103	7
	構成比（%）		60.1	58.8	37.2	64.2	66.2	70.9	38.5	70.9	62.2	69.6	4.7

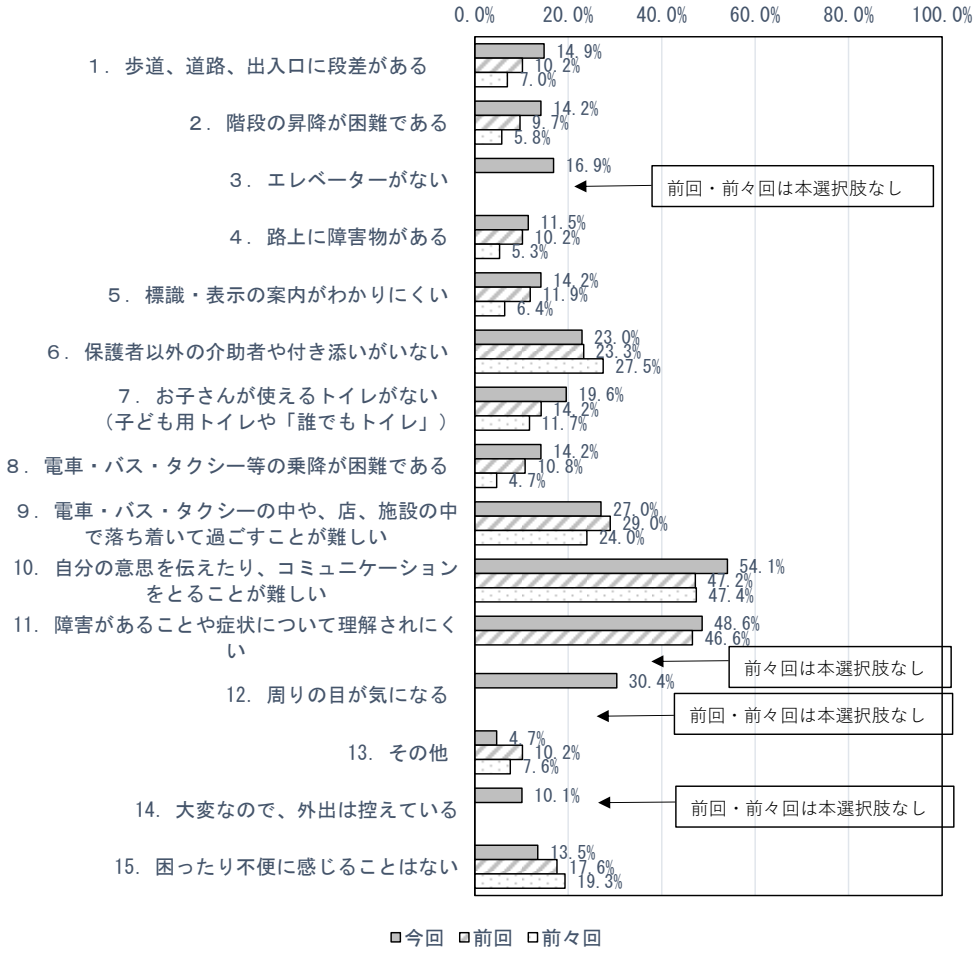
お子さんとの外出について（問 21～問 22）

問 21　お子さんと一緒に、またはお子さんがひとりで外出するときに、困ったり不便を感じたりすることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1．歩道、道路、出入口に段差がある　2．階段の昇降が困難である
3．エレベーターがない　4．路上に障害物がある
5．標識・標示の案内がわかりにくい
6．保護者以外の介助者や付き添いがいない
7．お子さんが使えるトイレがない（子ども用トイレや「誰でもトイレ」）
8．電車・バス・タクシー等の乗降が困難である
9．電車・バス・タクシーの中や、店、施設の中で落ち着いて過ごすことが難しい
10．自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることが難しい
11．障害があることや症状について理解されにくい　12．周りの目が気になる
13．その他　14．大変なので、外出は控えている
15．困ったり不便に感じることはない

「自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることが難しい」が約 54%

・お子さんと一緒に、またはお子さんがひとりで外出するときに困ったり不便に感じたりすることについては、「自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることが難しい」が約54%、次いで「障害があることや症状について理解されにくい」が約49%となり、いずれも増加しています。
・また、「周りの目が気になる」（新設問）が30.4%となっています。



		回答者数	1. 歩道、道路、出入口に段差がある	2. 階段の昇降が困難である	3. エレベーターがない	4. 路上に障害物がある	5. 標識・表示の案内がわかりにくい	6. 保護者以外の介助者や付き添いがいない	7. お子さんが使えるトイレがない	8. 電車・バス・タクシー等の乗降が困難である
児童	人数	148	22	21	25	17	21	34	29	21
	構成比（%）		14.9	14.2	16.9	11.5	14.2	23.0	19.6	14.2

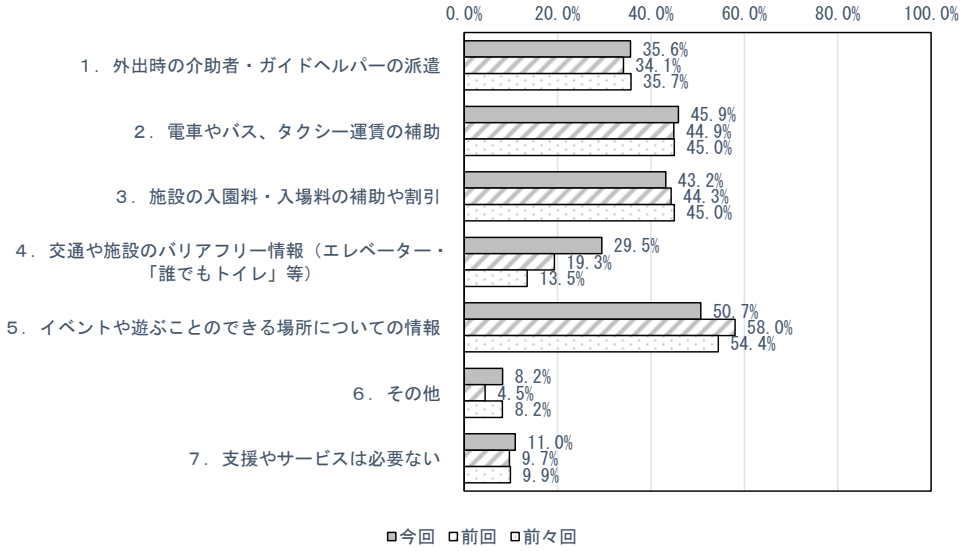
9. 電車・バス・タクシーの中や、店、施設の中で落ち着いて過ごすことが難しい	10. 自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることが難しい	11. 障害があることや症状について理解されにくい	12. 周りの目が気になる	13. その他	14. 大変なので、外出は控えている	15. 困ったり不便に感じることはない
40	80	**72**	45	7	15	20
27.0	54.1	**48.6**	30.4	4.7	10.1	13.5

問 22　お子さんとの外出時に、どのような支援やサービスがあると良いと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1．外出時の介助者・ガイドヘルパーの派遣
2．電車やバス、タクシー運賃の補助
3．施設の入園料・入場料の補助や割引
4．交通や施設のバリアフリー情報（エレベーター・「誰でもトイレ」等）
5．イベントや遊ぶことのできる場所についての情報
6．その他
7．支援やサービスは必要ない

「イベントや遊ぶことのできる場所についての情報」が約 51%

・お子さんとの外出時にあると良いと思う支援やサービスについては、「イベントや遊ぶことのできる場所についての情報」が約51%と最も多く、次いで「電車やバス、タクシー運賃の補助」が約46%となっています。



		回答者数	1. 外出時の介助者・ガイドヘルパーの派遣	2. 電車やバス、タクシー運賃の補助	3. 施設の入園料・入場料の補助や割引	4. 交通や施設のバリアフリー情報	5. イベントや遊ぶことのできる場所についての情報	6. その他	7. 支援やサービスは必要ない
児童	人数	146	52	**67**	63	43	74	12	16
	構成比（%）		35.6	**45.9**	43.2	29.5	50.7	8.2	11.0

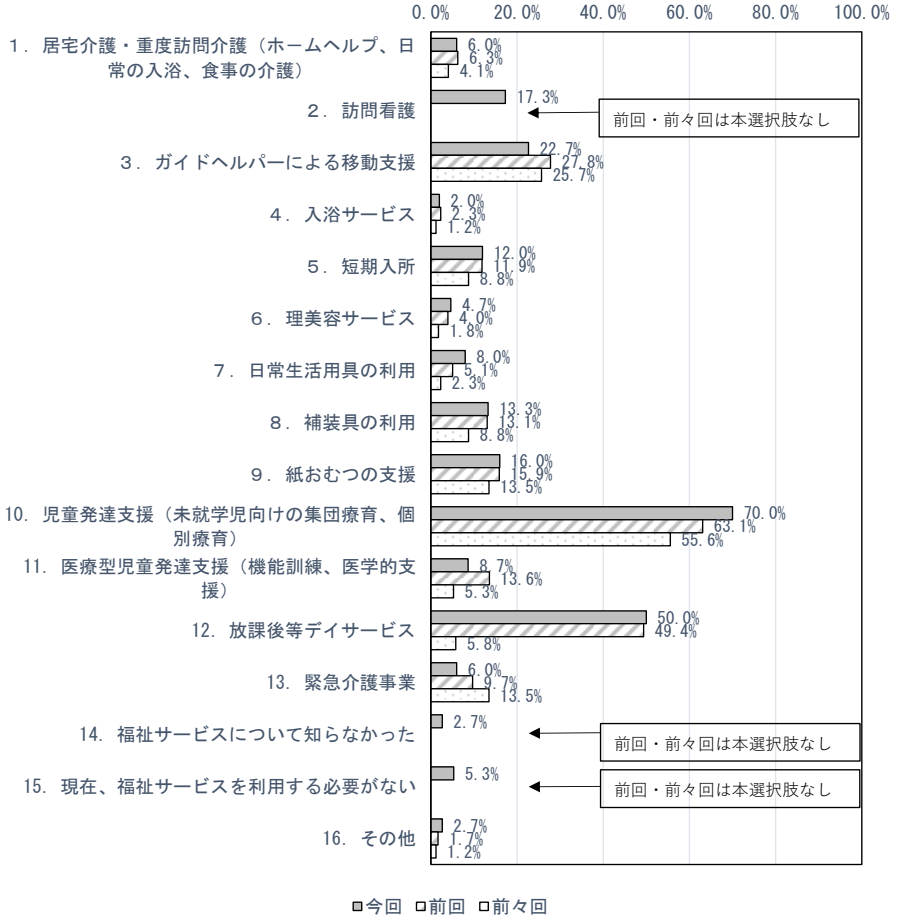
福祉サービスについて（問 23～問 25）

問 23　お子さんは、以下の福祉サービスを利用していますか（利用したことがありますか）。（あてはまるものすべてに○）

1．居宅介護・重度訪問介護（ホームヘルプ、日常の入浴、食事の介護）
2．訪問看護
3．ガイドヘルパーによる移動支援
4．入浴サービス
5．短期入所
6．理美容サービス
7．日常生活用具の利用
8．補装具の利用
9．紙おむつの支給
10．児童発達支援（未就学児向けの集団療育、個別療育）
11．医療型児童発達支援（機能訓練、医学的支援）
12．放課後等デイサービス
13．緊急介護事業
14．福祉サービスについて知らなかった
15．現在、福祉サービスを利用する必要がない
16．その他

「児童発達支援」が 70%

・利用している・利用したことがあるサービスについては、「児童発達支援（未就学児向けの集団療育、個別療育）」が70%で最も多く、次いで「放課後等デイサービス」が50%となっています。



		回答者数	1. 居宅介護・重度訪問介護（ホームヘルプ、日常の入浴、食事の介護）	2. 訪問看護	3. ガイドヘルパーによる移動支援	4. 入浴サービス	5. 短期入所	6. 理美容サービス	7. 日常生活用具の利用	8. 補装具の利用
児童	人数	150	9	26	34	3	18	7	12	20
	構成比（%）		6.0	17.3	22.7	2.0	12.0	4.7	8.0	13.3

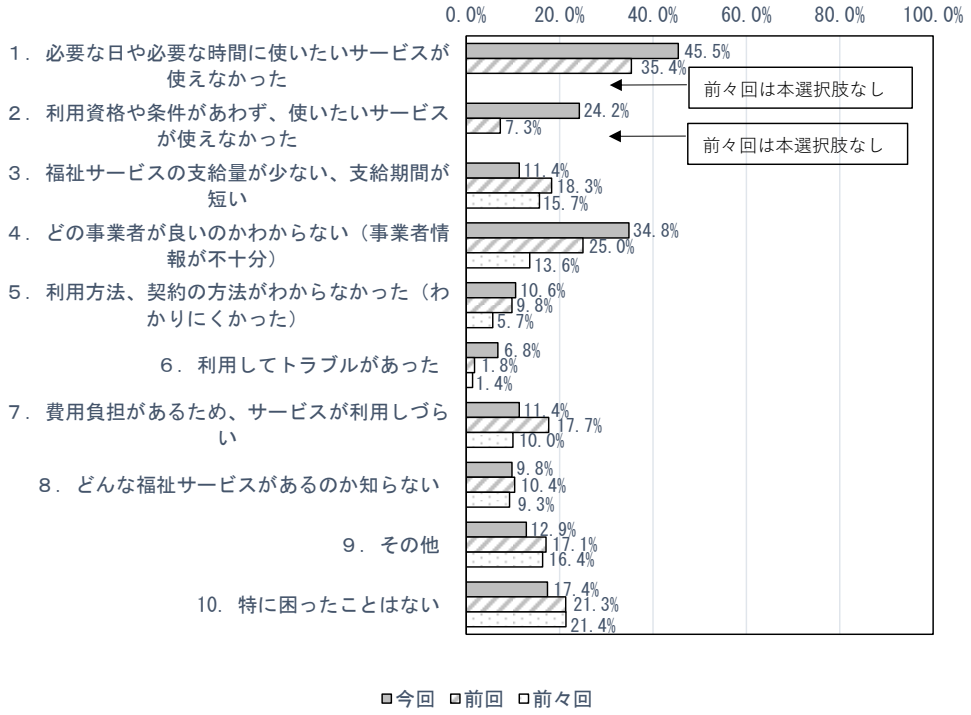
9. 紙おむつの支援	10. 児童発達支援（未就学児向けの集団療育、個別療育）	11. 医療型児童発達支援（機能訓練、医学的支援）	12. 放課後等デイサービス	13. 緊急介護事業	14. 福祉サービスについて知らなかった	15. 現在、福祉サービスを利用する必要がない	16. その他
24	105	13	**75**	9	4	8	4
16.0	70.0	8.7	**50.0**	6.0	2.7	5.3	2.7

問 24　問 23 の福祉サービスを利用しているお子さんについてお聞きします。福祉サービスを利用するときに何か困ったことはありましたか。（あてはまるものすべてに○）

1．必要な日や時間に使いたい福祉サービスが使えなかった
2．利用資格や条件があわず、使いたい福祉サービスが使えなかった
3．福祉サービスの支給量が少ない、支給期間が短い
4．どの事業者が良いのかわからない（事業者情報が不十分）
5．利用方法、契約の方法がわからなかった（わかりにくかった）
6．利用してトラブルがあった
7．費用負担があるため、利用しづらい
8．どんな福祉サービスがあるのか知らない
9．その他
10．特に困ったことはない

「必要な日や時間に使いたい福祉サービスが使えなかった」が約 46%

・サービスを利用するときに困ったことについては、「必要な日や時間に使いたい福祉サービスが使えなかった」が約46%で最も多く、次いで「どの事業者が良いのかわからない（事業者情報が不十分）」が約35%となっています。



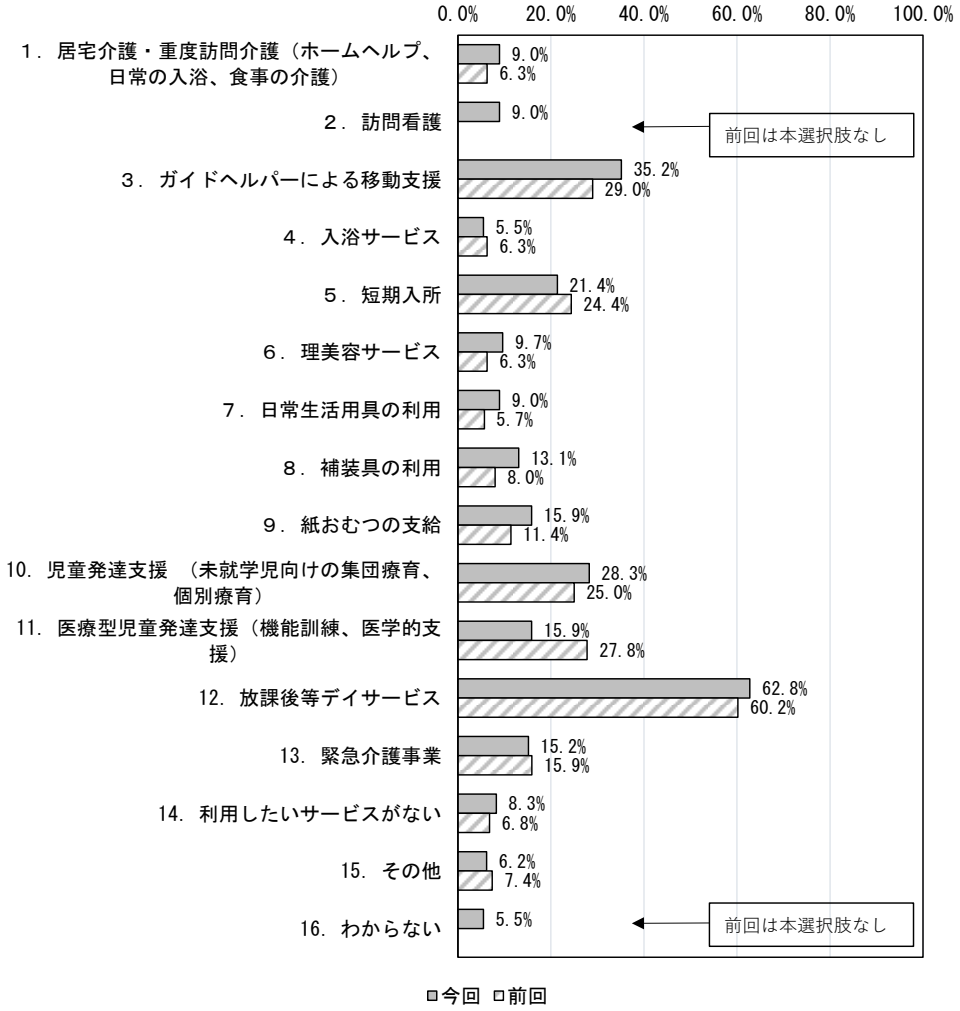
		回答者数	1. 必要な日や必要な時間に使いたいサービスが使えなかった	2. 利用資格や条件があわず、使いたいサービスが使えなかった	3. 福祉サービスの支給量が少ない、支給期間が短い	4. どの事業者が良いのかわからない（事業者情報が不十分）	5. 利用方法、契約の方法がわからなかった（わかりにくかった）	6. 利用してトラブルがあった	7. 費用負担があるため、サービスが利用しづらい	8. どんな福祉サービスがあるのか知らない	9. その他	10. 特に困ったことはない
児童	人数	132	60	32	15	**46**	14	9	15	13	17	23
	構成比（%）		45.5	24.2	11.4	**34.8**	10.6	6.8	11.4	9.8	12.9	17.4

問 25　今後、以下の福祉サービスの中で利用したいサービスはありますか。
（あてはまるものすべてに○）

1．居宅介護・重度訪問介護（ホームヘルプ、日常の入浴、食事の介護）
2．訪問看護　　3．ガイドヘルパーによる移動支援
4．入浴サービス　　5．短期入所
6．理美容サービス　　7．日常生活用具の利用
8．補装具の利用　　9．紙おむつの支給
10．児童発達支援（未就学児向けの集団療育、個別療育）
11．医療型児童発達支援（機能訓練、医学的支援）
12．放課後等デイサービス　　13．緊急介護事業
14．利用したいサービスがない　　15．その他
16．わからない

「放課後等デイサービス」が約 63%

・今後利用したいサービスについては、「放課後等デイサービス」が約63%で最も多く、次いで「ガイドヘルパーによる移動支援」が約35%となっています。



		回答者数	1. 居宅介護・重度訪問介護（ホームヘルプ、日常の入浴、食事の介護）	2. 訪問看護	3. ガイドヘルパーによる移動支援	4. 入浴サービス	5. 短期入所	6. 理美容サービス	7. 日常生活用具の利用	8. 補装具の利用
児童	人数	145	13	13	**51**	8	31	14	13	19
	構成比（%）		9.0	9.0	**35.2**	5.5	21.4	9.7	9.0	13.1

9. 紙おむつの支給	10. 児童発達支援（未就学児向けの集団療育、個別療育）	11. 医療型児童発達支援（機能訓練、医学的支援）	12. 放課後等デイサービス	13. 緊急介護事業	14. 利用したいサービスがない	15. その他	16. わからない
23	41	23	91	22	12	9	8
15.9	28.3	15.9	62.8	15.2	8.3	6.2	5.5

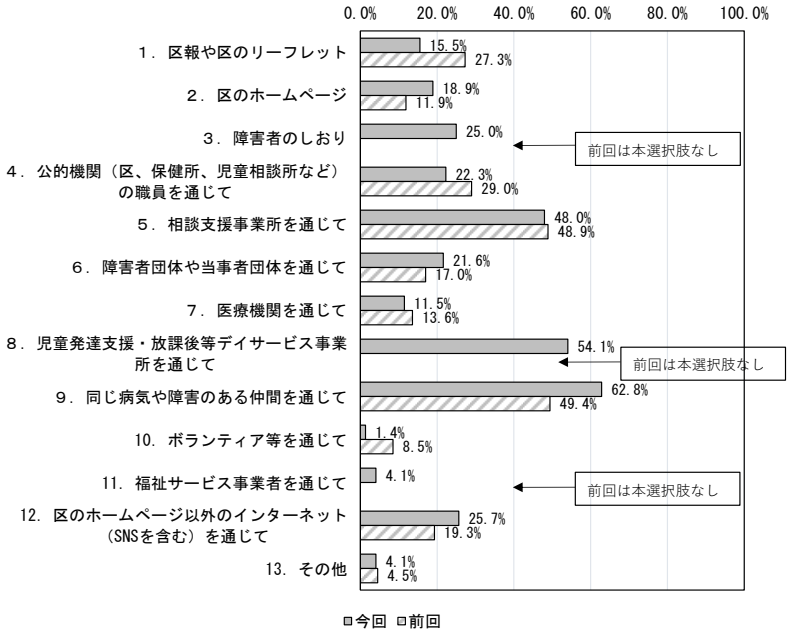
情報の入手について（問 26）

問 26　発達に関する不安や障害等のことやお子さんが使えるサービスのことについて、どのように（どこで）情報を得ていますか。（あてはまるものすべてに○）

1．区報や区のリーフレット　　2．区のホームページ　　3．障害者のしおり
4．公的機関（区、保健所、児童相談所など）の職員を通じて
5．相談支援事業所を通じて　　6．障害者団体や当事者団体を通じて
7．医療機関を通じて　　8．児童発達支援・放課後等デイサービス事業所を通じて
9．同じ病気や障害のある仲間を通じて　　10．ボランティア等を通じて
11．福祉サービス事業者を通じて
12．区のホームページ以外のインターネット（SNS を含む）を通じて
13．その他

「同じ病気や障害のある仲間を通じて」が約63%
「児童発達支援・放課後等デイサービス事業所を通じて」が約54%

・お子さんの発達や障害に関する不安、お子さんが使えるサービスについての情報入手方法は、「同じ病気や障害のある仲間を通じて」が約63%と最も多く、次いで「児童発達支援・放課後等デイサービス事業所を通じて」が約54%となっています。



		回答者数	1．区報や区のリーフレット	2．区のホームページ	3．障害者のしおり	4．公的機関（区、保健所、児童相談所など）の職員を通じて	5．相談支援事業所を通じて	6．障害者団体や当事者団体を通じて	7．医療機関を通じて	8．児童発達支援・放課後等デイサービス事業所を通じて
児童	人数	148	23	28	37	33	71	32	17	**80**
	構成比（%）		15.5	18.9	25.0	22.3	48.0	21.6	11.5	**54.1**

9．同じ病気や障害のある仲間を通じて	10．ボランティア等を通じて	11．福祉サービス事業者を通じて	12．区のホームページ以外のインターネット（SNSを含む）を通じて	13．その他
93	2	6	38	6
62.8	1.4	4.1	25.7	4.1

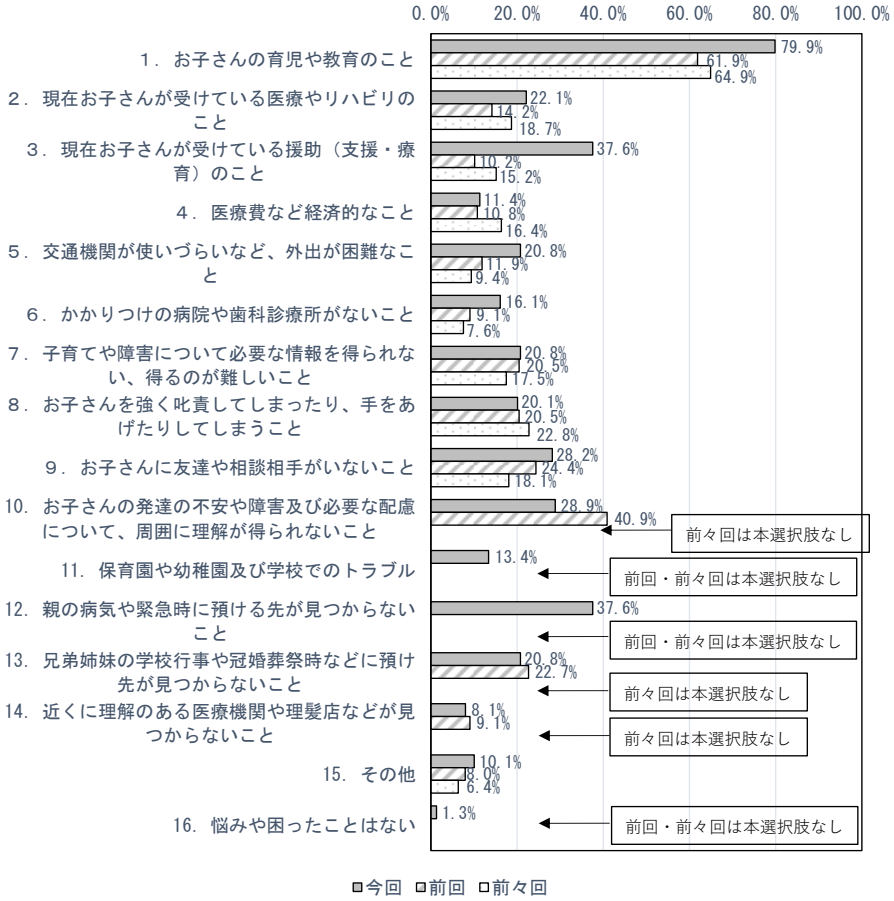
相談について（問 27～問 29）

問 27　あなたは、お子さんのことで悩みや困ったことがありますか。
（あてはまるものすべてに○）

1．お子さんの育児や教育のこと
2．現在お子さんが受けている医療やリハビリのこと
3．現在お子さんが受けている援助（支援・療育）のこと
4．医療費など経済的なこと
5．交通機関が使いづらいなど、外出が困難なこと
6．かかりつけの病院や歯科診療所がないこと
7．子育てや障害について必要な情報を得られない、得るのが難しいこと
8．お子さんを強く叱責してしまったり、手をあげたりしてしまうこと
9．お子さんに友達や相談相手がいないこと
10．お子さんの発達の不安や障害及び必要な配慮について、周囲に理解が得られないこと
11．保育園や幼稚園及び学校でのトラブル
12．親の病気や緊急時に預ける先が見つからないこと
13．兄弟姉妹の学校行事や冠婚葬祭時などに預け先が見つからないこと
14．近くに理解のある医療機関や理髪店などが見つからないこと
15．その他
16．悩みや困ったことはない

「お子さんの育児や教育のこと」が約 80%

・お子さんのことで現在の悩みや困ったことについては、「お子さんの育児や教育のこと」が約80%に上り前回調査と比較しても18%増加しています。次いで、「現在お子さんが受けている援助（支援・療育）のこと」、「親の病気や緊急時に預ける先が見つからないこと」が約38%となっています。



		回答者数	1．お子さんの育児や教育のこと	2．現在お子さんが受けている医療やリハビリのこと	3．現在お子さんが受けている援助（支援・療育）のこと	4．医療費など経済的なこと	5．交通機関が使いづらいなど、外出が困難なこと	6．かかりつけの病院や歯科診療所がないこと	7．子育てや障害について必要な情報を得られない、得るのが難しいこと	8．お子さんを強く叱責してしまったり、手をあげたりしてしまうこと
児童	人数	149	119	33	**56**	17	31	24	31	30
	構成比（%）		79.9	22.1	**37.6**	11.4	20.8	16.1	20.8	20.1

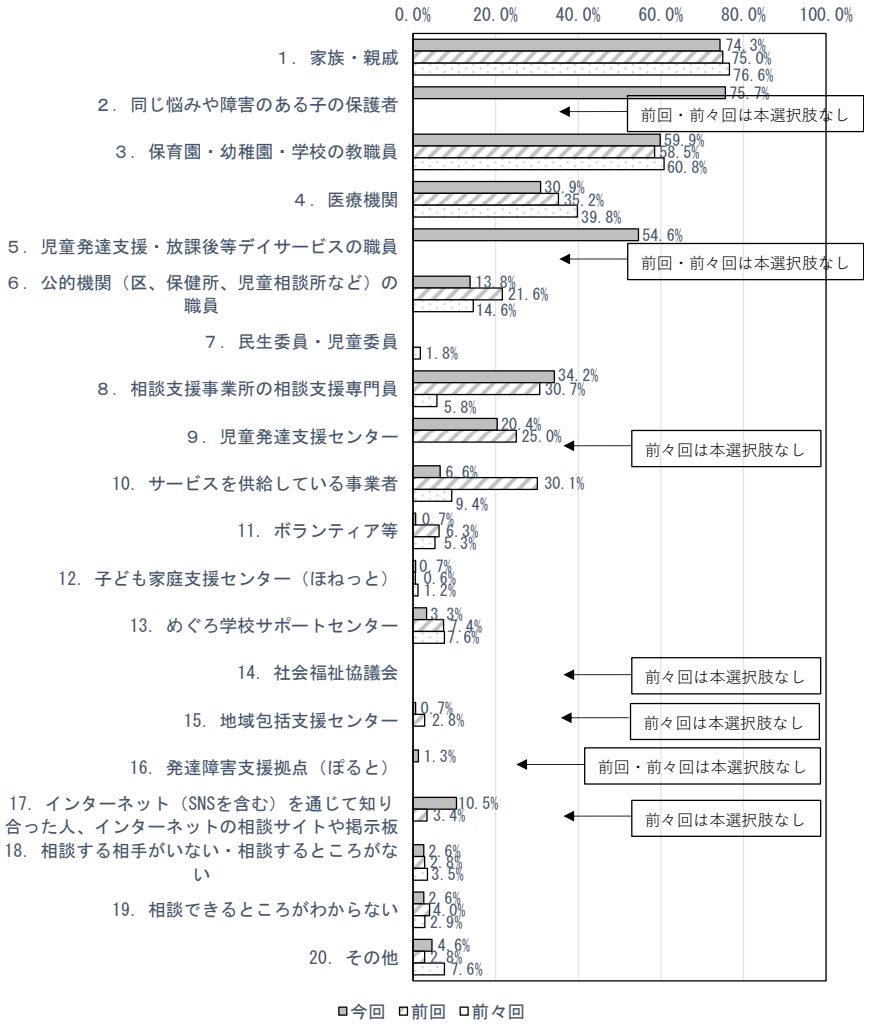
9．お子さんに友達や相談相手がいないこと	10．お子さんの発達の不安や障害及び必要な配慮について、周囲に理解が得られないこと	11．保育園や幼稚園及び学校でのトラブル	12．親の病気や緊急時に預ける先が見つからないこと	13．兄弟姉妹の学校行事や冠婚葬祭時などに預け先が見つからないこと	14．近くに理解のある医療機関や理髪店などが見つからないこと	15．その他	16．悩みや困ったことはない
42	43	20	**56**	31	12	15	2
28.2	28.9	13.4	**37.6**	20.8	8.1	10.1	1.3

問 28　お子さんのことで悩んだり困っているときに相談する相手は誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

1．家族・親戚
2．同じ悩みや障害のある子の保護者
3．保育園・幼稚園・学校の教職員
4．医療機関
5．児童発達支援・放課後等デイサービスの職員
6．公的機関（区、保健所、児童相談所など）の職員
7．民生委員・児童委員
8．相談支援事業所の相談支援専門員
9．児童発達支援センター
10．サービスを供給している事業者
11．ボランティア等
12．子ども家庭支援センター（ほねっと）
13．めぐろ学校サポートセンター
14．社会福祉協議会
15．地域包括支援センター
16．発達障害支援拠点（ぽると）
17．インターネット（SNS を含む）を通じて知り合った人、インターネットの相談サイトや掲示板
18．相談する相手がいない・相談するところがない
19．相談できるところがわからない
20．その他

「同じ悩みや障害のある子の保護者」が約 76%

・お子さんのことで悩んでいるとき相談する相手は、「同じ悩みや障害のある子の保護者」が約76%となっており、次いで「家族・親戚」が約74%となっています。



		回答者数	1. 家族・親戚	2. 同じ悩みや障害のある子の保護者	3. 保育園・幼稚園・学校の教職員	4. 医療機関	5. 児童発達支援・放課後等デイサービスの職員	6. 公的機関（区、保健所、児童相談所など）の職員	7. 民生委員・児童委員	8. 相談支援事業所の相談支援専門員	9. 児童発達支援センター	10. サービスを供給している事業者
児童	人数	152	**113**	115	91	47	83	21	0	52	31	10
	構成比（%）		**74.3**	75.7	59.9	30.9	54.6	13.8	0.0	34.2	20.4	6.6

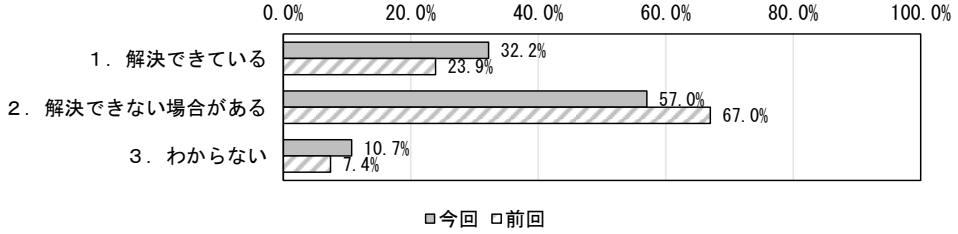
11. ボランティア等	12. 子ども家庭支援センター（ほねっと）	13. めぐろ学校サポートセンター	14. 社会福祉協議会	15. 地域包括支援センター	16. 発達障害支援拠点（ぽると）	17. インターネット（SNSを含む）を通じて知り合った人、インターネットの相談サイトや掲示板	18. 相談する相手がいない・相談するところがない	19. 相談できるところがわからない	20. その他
1	1	5	0	1	2	16	4	4	7
0.7	0.7	3.3	0.0	0.7	1.3	10.5	2.6	2.6	4.6

問 29　問 28 で回答した相談先に相談することで、悩みや困ったことは解決できていますか。（１つに○）

１．解決できている　　２．解決できない場合がある　　３．わからない

「解決できない場合がある」が 57%

・相談することによる悩みや困ったことの解決状況については、「解決できている」が約32%、「解決できない場合がある」が57%となっています。



		回答者数	1．解決できている	2．解決できない場合がある	3．わからない
児童	人数	149	**48**	85	16
	構成比（%）	100.0	**32.2**	57.0	10.7

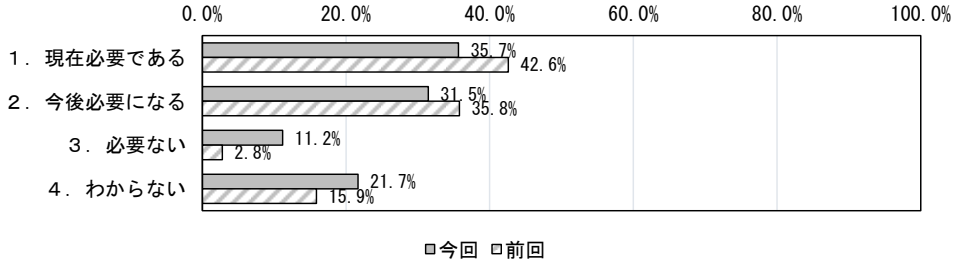
保護者・家族への支援について（問 30）

問 30　保護者や家族への支援は必要ですか。（１つに○）

１．現在必要である　　２．今後必要になる　　３．必要ない
４．わからない

「現在必要である」が約 36%

・保護者や家族への支援については、「現在必要である」が約36%、「今後必要になる」が約32%となっていますがいずれも減少し、「必要ない」が約11%と、約8%の増加となっています。



		回答者数	1．現在必要である	2．今後必要になる	3．必要ない	4．わからない
児童	人数	143	51	**45**	16	31
	構成比（%）	100.0	35.7	**31.5**	11.2	21.7

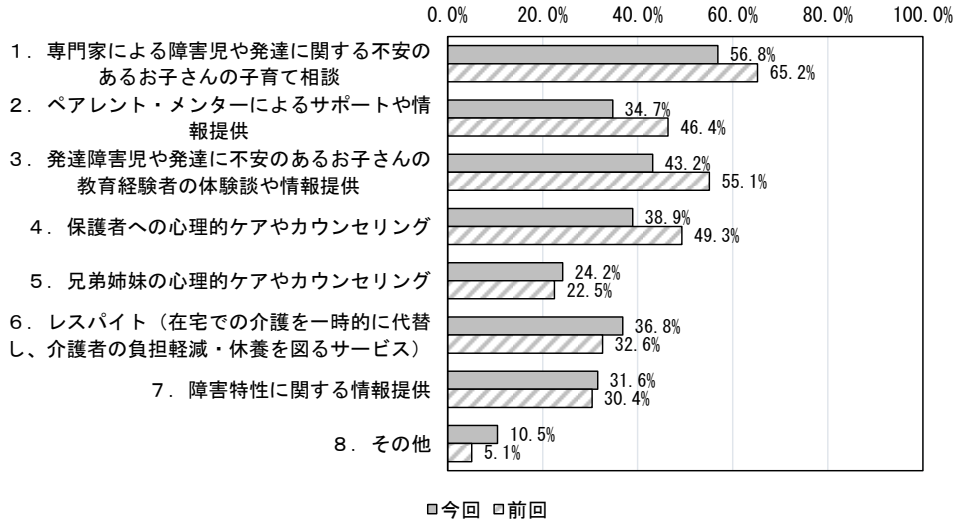
★問 30 で、「１．現在必要である」または「２．今後必要になる」と回答した方にお聞きします。

問 30－Ａ　どのような支援が必要ですか。（あてはまるものすべてに○）

１．専門家による障害児や発達に関する不安のあるお子さんの子育て相談
２．ペアレント・メンター（※）によるサポートや情報提供
（※発達に関する不安や障害のあるお子さんの子育てを経験し、相談支援についてのトレーニングを受けた親）
３．発達障害児や発達に不安のあるお子さんの教育経験者の体験談や情報提供
４．保護者への心理的ケアやカウンセリング
５．兄弟姉妹の心理的ケアやカウンセリング
６．レスパイト（在宅での介護を一時的に代替し、介護者の負担軽減・休養を図るサービス）
７．障害特性に関する情報提供　　８．その他

「専門家への子育て相談」が約 57%

- 必要な保護者への支援については、「専門家による障害児や発達に関する不安のあるお子さんの子育て相談」が約57%、次いで「発達障害児や発達に不安のあるお子さんの教育経験者の体験談や情報提供」が約43%となっていますが、いずれも減少しています。
- その他、「ペアレント・メンターによるサポートや情報提供」や「保護者への心理的ケアやカウンセリング」は減少していますが、「レスパイト」などは増加しています。



		回答者数	1. 専門家による障害児や発達に関する不安のあるお子さんの子育て相談	2. ペアレント・メンターによるサポートや情報提供	3. 発達障害児や発達に不安のあるお子さんの教育経験者の体験談や情報提供	4. 保護者への心理的ケアやカウンセリング	5. 兄弟姉妹の心理的ケアやカウンセリング	6. レスパイト（在宅での介護を一時的に代替し、介護者の負担軽減・休養を図るサービス）	7. 障害特性に関する情報提供	8. その他
児童	人数	95	54	33	**41**	37	23	35	30	10
	構成比（%）		56.8	34.7	**43.2**	38.9	24.2	36.8	31.6	10.5

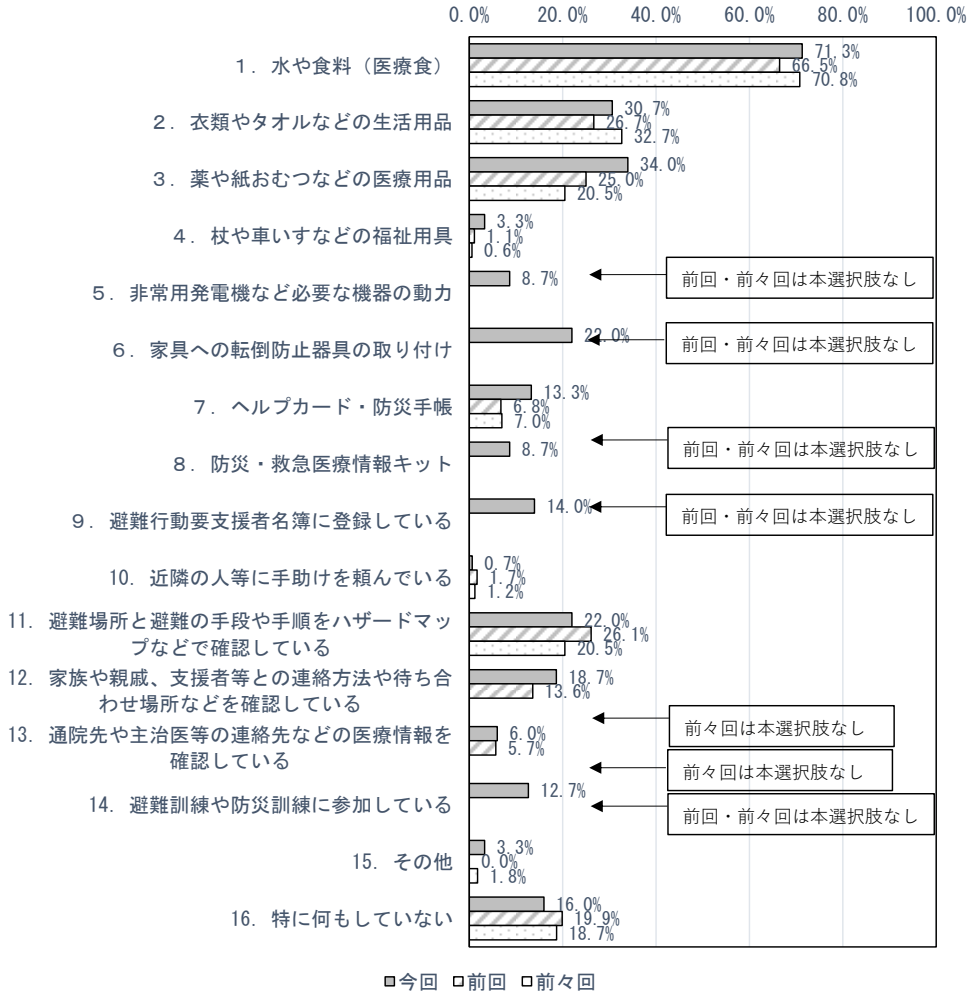
防災について（問 31～問 32）

問 31　災害に備えて準備しているものはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1．水や食料（医療食）
2．衣類やタオルなどの生活用品
3．薬や紙おむつなどの医療用品
4．杖や車いすなどの福祉用具
5．非常用発電機など必要な機器の動力
6．家具への転倒防止器具の取り付け
7．ヘルプカード・防災手帳
8．防災・救急医療情報キット
9．避難行動要支援者名簿に登録している
10．近隣の人等に手助けを頼んでいる
11．避難場所と避難の手段や手順をハザードマップなどで確認している
12．家族や親戚、支援者等との連絡方法や待ち合わせ場所などを確認している
13．通院先や主治医等の連絡先などの医療情報を確認している
14．避難訓練や防災訓練に参加している
15．その他
16．特に何もしていない

「水や食料（医療食）」が約 71%

・災害に備えて準備しているものは、「水や食料（医療食）」が約71%となっています。
・また、「特に何もしていない」は約16%と、前回調査から4%減少しています。



		回答者数	1. 水や食料（医療食）	2. 衣類やタオルなどの生活用品	3. 薬や紙おむつなどの医療用品	4. 杖や車いすなどの福祉用具	5. 非常用発電機など必要な機器の動力	6. 家具への転倒防止器具の取り付け	7. ヘルプカード・防災手帳	8. 防災・救急医療情報キット
児童	人数	150	107	46	**51**	5	13	33	20	13
	構成比（%）		71.3	30.7	**34.0**	3.3	8.7	22.0	13.3	8.7

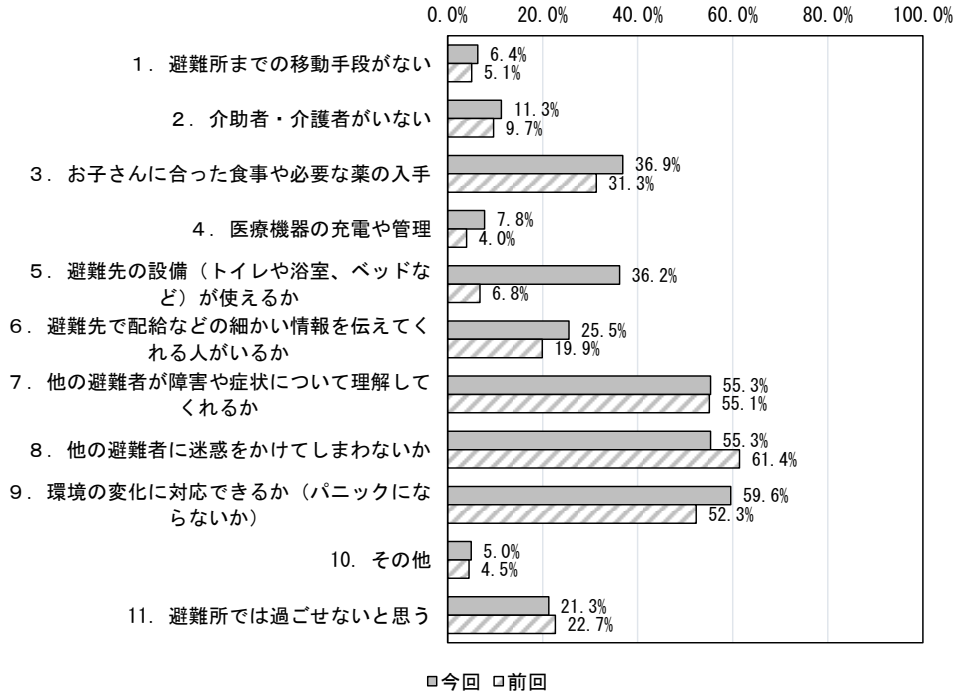
9. 避難行動要支援者名簿に登録している	10. 近隣の人等に手助けを頼んでいる	11. 避難場所と避難の手段や手順をハザードマップなどで確認している	12. 家族や親戚、支援者等との連絡方法や待ち合わせ場所などを確認している	13. 通院先や主治医等の連絡先などの医療情報を確認している	14. 避難訓練や防災訓練に参加している	15. その他	16. 特に何もしていない
21	1	33	28	9	19	5	24
14.0	0.7	22.0	18.7	6.0	12.7	3.3	16.0

問 32　災害等により避難所で生活することになった場合、不安に思うことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1．避難所までの移動手段がない
2．介助者・介護者がいない
3．お子さんに合った食事や必要な薬の入手
4．医療機器の充電や管理
5．避難先の設備（トイレや浴室、ベッドなど）が使えるか
6．避難先で配給などの細かい情報を伝えてくれる人がいるか
7．他の避難者が障害や症状について理解してくれるか
8．他の避難者に迷惑をかけてしまわないか
9．環境の変化に対応できるか（パニックにならないか）
10．その他
11．避難所では過ごせないと思う

「環境の変化に対応できるか」が約 60%

・災害等により避難所で生活する場合に不安に思うことについては、「環境の変化に対応できるか（パニックにならないか）」が約60%、次いで「他の避難者が障害について理解してくれるか」、「他の避難者に迷惑をかけてしまわないか」が約55%で同数となっています。



		回答者数	1．避難所までの移動手段がない	2．介助者・介護者がいない	3．お子さんに合った食事や必要な薬の入手	4．医療機器の充電や管理	5．避難先の設備（トイレや浴室、ベッドなど）が使えるか	6．避難先で配給などの細かい情報を伝えてくれる人がいるか	7．他の避難者が障害や症状について理解してくれるか	8．他の避難者に迷惑をかけてしまわないか	9．環境の変化に対応できるか（パニックにならないか）	10．その他	11．避難所では過ごせないと思う
児童	人数	141	9	16	52	11	51	36	**78**	**78**	84	7	30
	構成比（%）		6.4	11.3	36.9	7.8	36.2	25.5	**55.3**	**55.3**	59.6	5.0	21.3

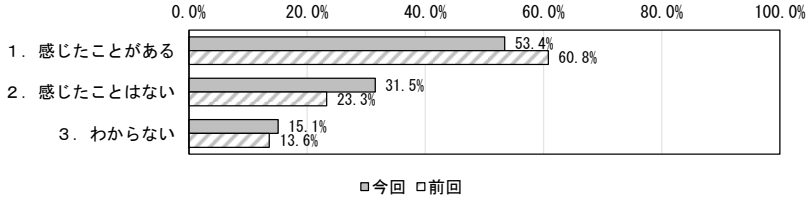
権利擁護について（問 33～問 37）

問 33　あなたは、この３年間に差別をされたと感じたことはありますか。（１つに○）

１．感じたことがある　　２．感じたことはない　　３．わからない

「感じたことがある」約 53%

・障害や発達の不安を理由とした差別の経験については、「感じたことがある」が約53%、「感じたことはない」が約32%となっています。

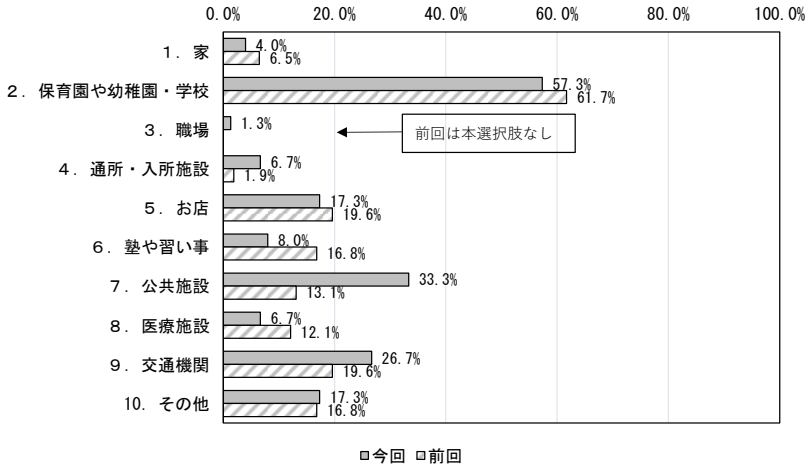


		回答者数	1. されたことがある	2. されたことはない	3. わからない
児童	人数	146	78	**46**	22
	構成比（%）	100.0	53.4	**31.5**	15.1

問 33－Ａ　「１．感じたことがある」と回答した方は、「どこで」差別を受けましたか。（あてはまるものすべてに○）

「保育園や幼稚園・学校」が約 57%

・差別をされた場所については、「保育園や幼稚園・学校」が約57%と最も多く、次いで「公共施設」が約33%となっています。

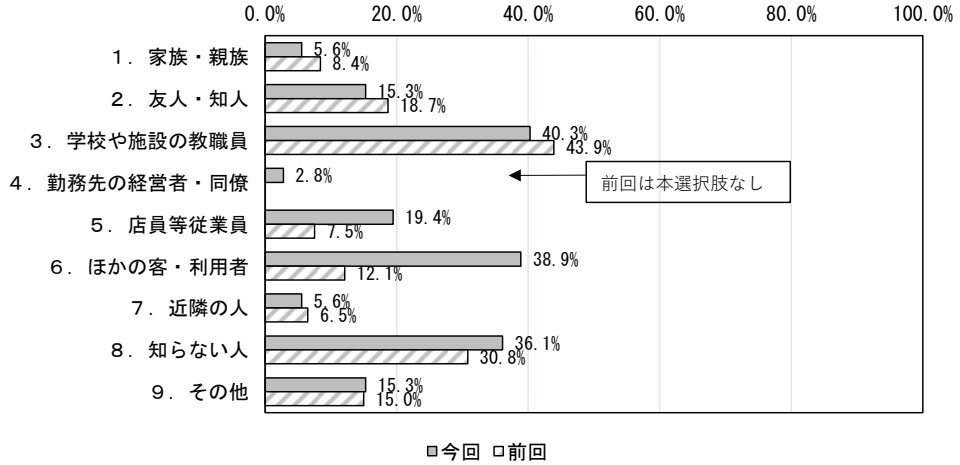


		回答者数	1. 家	2. 保育園や幼稚園・学校	3. 職場	4. 通所・入所施設	5. お店	6. 塾や習い事	7. 公共施設	8. 医療施設	9. 交通機関	10. その他
児童	人数	75	3	43	1	5	13	6	**25**	5	20	13
	構成比（%）		4.0	57.3	1.3	6.7	17.3	8.0	**33.3**	6.7	26.7	17.3

問 33－Ａ　「１．感じたことがある」と回答した方は、「誰から」差別を受けましたか。（あてはまるものすべてに○）

「学校や施設の教職員」が約 40%

・差別された相手については、「学校や施設の教職員」が約40%と最も多く、次いで「ほかの客・利用者」が約39%となっています。

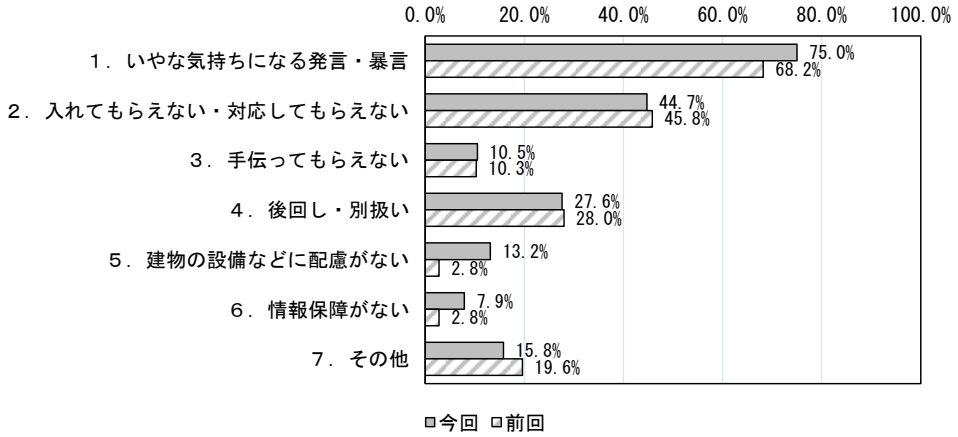


		回答者数	1. 家族・親族	2. 友人・知人	3. 学校や施設の教職員	4. 勤務先の経営者・同僚	5. 転院等従業員	6. ほかの客・利用者	7. 近隣の人	8. 知らない人	9. その他
児童	人数	72	4	11	29	2	14	**28**	4	26	11
	構成比（%）		5.6	15.3	40.3	2.8	19.4	**38.9**	5.6	36.1	15.3

問 33－Ａ　「１．感じたことがある」と回答した方は、「どのような」差別を受けましたか。（あてはまるものすべてに○）

「いやな気持ちになる発言・暴言」が 75%

・差別の内容については、「いやな気持ちになる発言・暴言」が75%と最も多く、次いで「入れてもらえない・対応してもらえない」が約45%となっています。



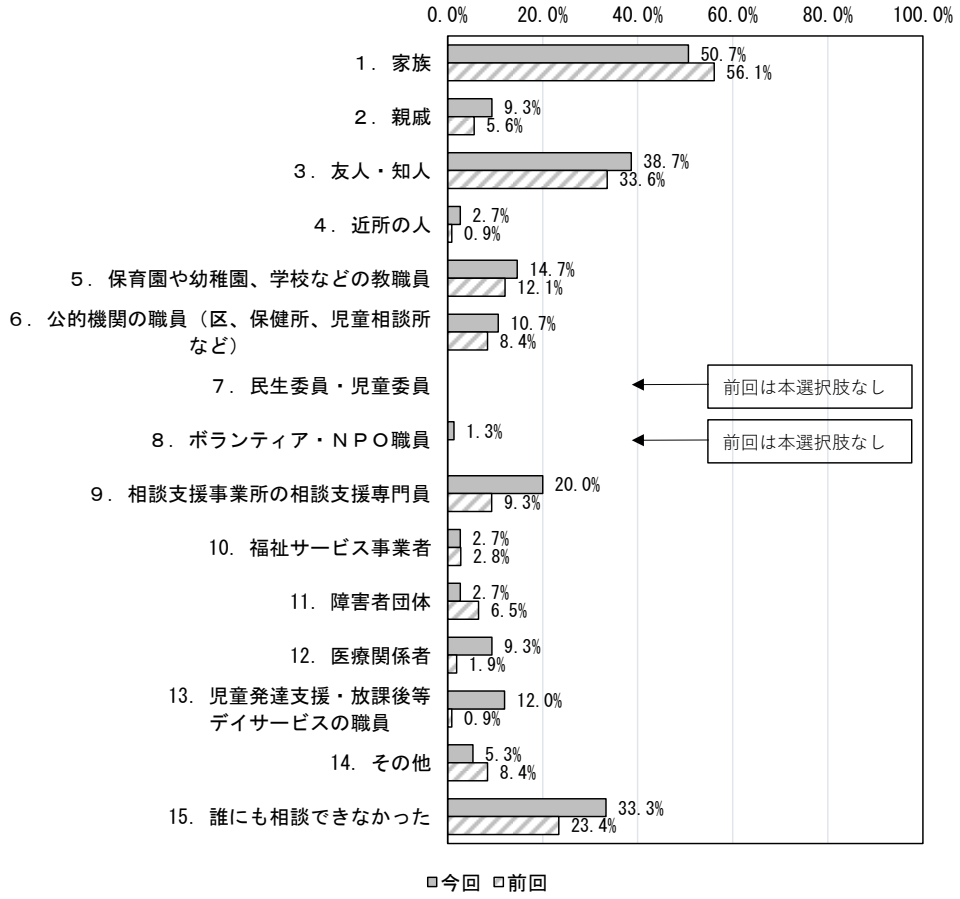
		回答者数	1．いやな気持ちになる発言・暴言	2．入れてもらえない・対応してもらえない	3．手伝ってもらえない	4．後回し・別扱い	5．建物の設備などに配慮がない	6．情報保障がない	7．その他
児童	人数	76	57	**34**	8	21	10	6	12
	構成比（%）	100.0	75.0	**44.7**	10.5	27.6	13.2	7.9	15.8

問 33－Ｂ　「１．感じたことがある」と回答した方は、差別をされたと感じたとき、誰、またはどこに相談しましたか。（あてはまるものすべてに○）

１．家族
２．親戚
３．友人・知人
４．近所の人
５．保育園や幼稚園、学校などの教職員
６．公的機関の職員（区、保健所、児童相談所など）
７．民生委員・児童委員
８．ボランティア・ＮＰＯ職員
９．相談支援事業所の相談支援専門員
10．福祉サービス事業者
11．障害者団体
12．医療関係者
13．児童発達支援・放課後等デイサービスの職員
14．その他
15．誰にも相談できなかった

「家族」が約 51%、「友人・知人」が約 39%

・差別されたときの相談先については、「家族」が約51％と最も多く、次いで「友人・知人」が約39％となっています。一方、「誰にも相談できなかった」が約33％に上り、前回調査から約10％増加しています。



		回答者数	1. 家族	2. 親戚	3. 友人・知人	4. 近所の人	5. 保育園や幼稚園、学校などの教職員	6. 公的機関の職員（区、保健所、児童相談所など）	7. 民生委員・児童委員	8. ボランティア・NPO職員
児童	人数	75	38	7	**29**	2	11	8	0	1
	構成比（%）		50.7	9.3	**38.7**	2.7	14.7	10.7	0.0	1.3

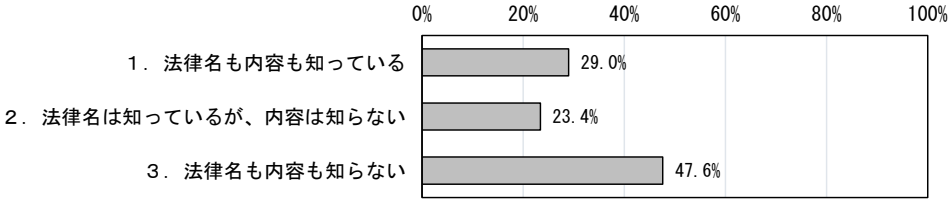
9. 相談支援事業所の相談支援専門員	10. 福祉サービス事業者	11. 障害者団体	12. 医療関係者	13. 児童発達支援・放課後等デイサービスの職員	14. その他	15. 誰にも相談できなかった
15	2	2	7	9	4	25
20.0	2.7	2.7	9.3	12.0	5.3	33.3

問 34　あなたは、「障害者差別解消法」を知っていますか。（１つに○）

１．法律名も内容も知っている　　２．法律名は知っているが、内容は知らない
３．法律名も内容も知らない

「名前も内容も知らない」が約 48%

・「障害者差別解消法」の周知については、約48%が「法律名も内容も知らない」と回答しています。



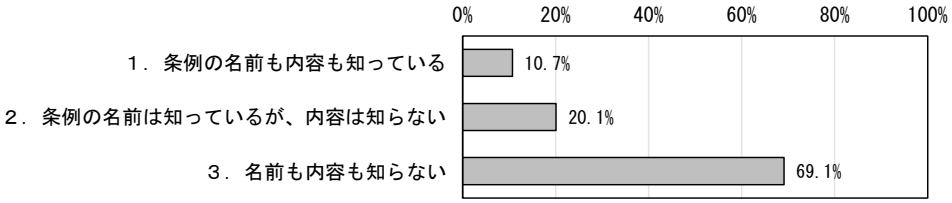
		回答者数	1. 法律名も内容も知っている	2. 法律名は知っているが、内容は知らない	3. 法律名も内容も知らない
児童	人数	145	**42**	34	69
	構成比（%）	100.0	**29.0**	23.4	47.6

問 35　あなたは、「東京都障害者への理解促進及び差別解消の推進に関する条例（平成 30 年 10 月 1 日施行）」を知っていますか。（１つに○）

１．条例の名前も内容も知っている　２．条例の名前は知っているが、内容は知らない
３．名前も内容も知らない

「名前も内容も知らない」が約 69%

・「東京都障害者への理解促進及び差別解消の推進に関する条例」の周知については、約69%が「名前も内容も知らない」と回答しています。



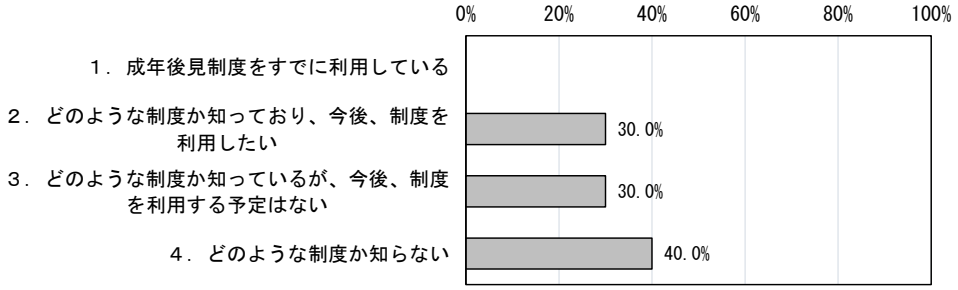
		回答者数	1. 条例の名前も内容も知っている	2. 条例の名前は知っているが、内容は知らない	3. 名前も内容も知らない
児童	人数	149	16	**30**	103
	構成比（%）	100.0	10.7	**20.1**	69.1

問 36　障害や高齢化などにより、自分ひとりで判断することが難しい方の権利を守る「成年後見制度」を知っていますか。または、利用したいですか。（１つに○）

１．成年後見制度をすでに利用している
２．どのような制度か知っており、今後、制度を利用したい
３．どのような制度か知っているが、今後、制度を利用する予定はない
４．どのような制度か知らない

「どのような制度か知らない」が 40%

・「成年後見制度」の周知については、「どのような制度か知らない」が40%、「どのような制度か知っており、今後、制度を利用したい」、「どのような制度か知っているが、今後、制度を利用する予定はない」がそれぞれ30%となっています。



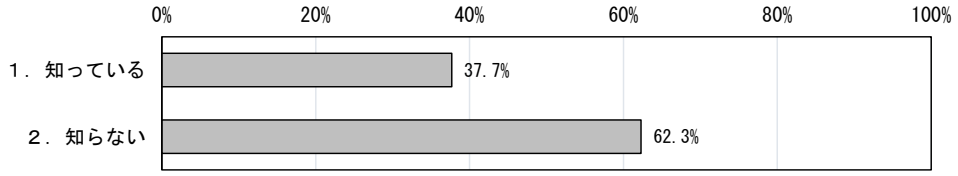
		回答者数	1．成年後見制度をすでに利用している	2．どのような制度か知っており、今後、制度を利用したい	3．どのような制度か知っているが、今後、制度を利用する予定はない	どのような制度か知らない
児童	人数	150	0	**45**	**45**	60
	構成比（%）	100.0	0.0	**30.0**	**30.0**	40.0

問 37　あなたは、「障害者虐待防止センター」に相談や通報ができることを知っていますか。（１つに○）

１．知っている　　２．知らない

「知らない」が約 62%

・「障害者虐待防止センター」に相談や通知ができることの周知については、「知らない」が約62%、「知っている」が約38%となっています。



		回答者数	1．知っている	2．知らない
児童	人数	151	**57**	94
	構成比（%）	100.0	**37.7**	62.3

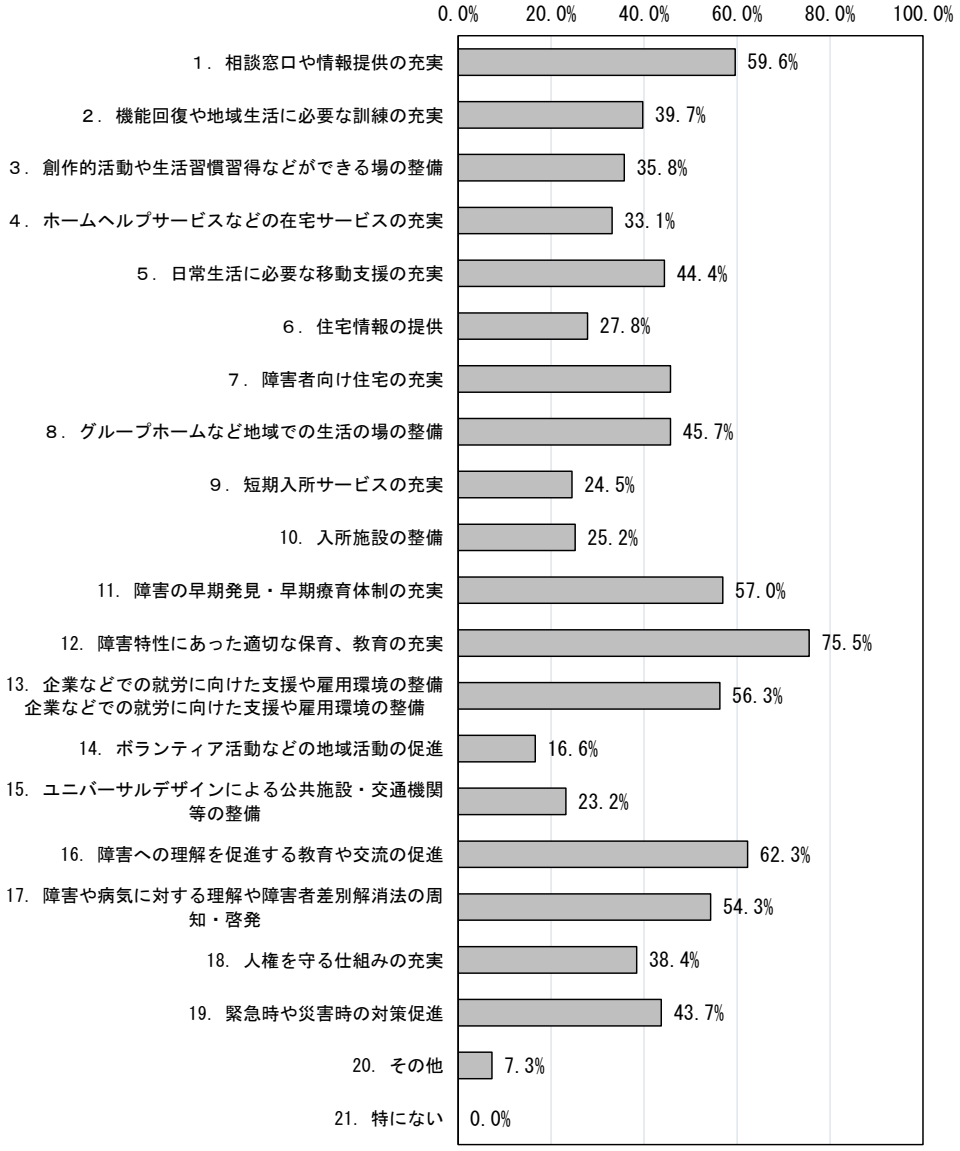
障害のある人のための取り組みについて（問 38）

問 38　あなたは、障害者が地域で自立して生活を送るために、重要と思う取り組みは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1．相談窓口や情報提供の充実
2．機能回復や地域生活に必要な訓練の充実
3．創作的活動や生活習慣習得などができる場の整備
4．ホームヘルプサービスなどの在宅サービスの充実
5．日常生活に必要な移動支援の充実
6．住宅情報の提供
7．障害者向け住宅の充実
8．グループホームなど地域での生活の場の整備
9．短期入所サービスの充実
10．入所施設の整備
11．障害の早期発見・早期療育体制の充実
12．障害特性にあった適切な保育、教育の充実
13．企業などでの就労に向けた支援や雇用環境の整備
14．ボランティア活動などの地域活動の促進
15．ユニバーサルデザインによる公共施設・交通機関等の整備
16．障害への理解を促進する教育や交流の促進
17．障害や病気に対する理解や障害者差別解消法の周知・啓発
18．人権を守る仕組みの充実
19．緊急時や災害時の対策促進
20．その他
21．特にない

「障害特性にあった適切な保育、教育の充実」が約 76%

・障害者が地域で自立して生活を送るために重要な取り組みについては、「障害特性にあった適切な保育、教育の充実」が約76%と最も多くなっています。次いで「障害への理解を促進する教育や交流の促進」が約62%となっています。



		回答者数	1．相談窓口や情報提供の充実	2．機能回復や地域生活に必要な訓練の充実	3．創作的活動や生活習慣習得などができる場の整備	4．ホームヘルプサービスなどの在宅サービスの充実	5．日常生活に必要な移動支援の充実	6．住宅情報の提供	7．障害者向け住宅の充実	8．グループホームなど地域での生活の場の整備	9．短期入所サービスの充実	10．入所施設の整備	11．障害の早期発見・早期療育体制の充実
児童	人数	151	90	60	54	50	67	42	69	69	37	38	86
	構成比（%）	100.0	59.6	39.7	35.8	33.1	44.4	27.8	45.7	45.7	24.5	25.2	57.0

12．障害特性にあった適切な保育、教育の充実	13．企業などでの就労に向けた支援や雇用環境の整備 企業などでの就労に向けた支援や雇用環境の整備	14．ボランティア活動などの地域活動の促進	15．ユニバーサルデザインによる公共施設・交通機関等の整備	16．障害への理解を促進する教育や交流の促進	17．障害や病気に対する理解や障害者差別解消法の周知・啓発	18．人権を守る仕組みの充実	19．緊急時や災害時の対策促進	20．その他	21．特にない
114	85	25	35	**94**	82	58	66	11	0
75.5	56.3	16.6	23.2	**62.3**	54.3	38.4	43.7	7.3	0.0